

共通教育

「学生による授業評価」ならびに
「教員のFD活動レポート」

報告書

平成24年度（前・後学期）



平成 26 年 3 月

宮 崎 大 学

**平成 24 年度（前期・後期）
共通教育「学生による授業評価」ならびに
「教員の FD 活動レポート」報告書
の刊行にあたって**

この報告書は、平成 24 年度前・後学期の共通教育に対して実施された「学生による授業評価」および「教員の FD 活動レポート」の分析結果を纏めたものです。旧宮崎大学と宮崎医科大学の統合(平成 15 年 10 月)により発足した宮崎大学共通教育部の自己点検・評価活動の一つとして、平成 16 年度の前・後学期以来発行し続け、今回が 13 冊目です。平成 19 年度までは前学期と後学期を別冊で発行してきましたが、平成 20 年度から合冊としました。質問項目や結果の整理・分析の方法はこれまでの報告書の場合とほぼ同じです。

共通教育部では、平成 25 年 7 月に外部評価を受け、宮崎大学共通教育が抱える種々の問題点をご指摘いただき、改善のために有益なご提言を多々いただきました。中でも、教育改善の PDCA サイクルを共通教育部が効果的に回すために必要な、点検・評価(C)の結果に基づく改善策を組織的に実行(A)する仕組みが、現在の共通教育部には不十分であることが、外部評価委員から指摘されております。改善策の組織的な実行を担保するためにも、教育分野の各部会内での教員間ネットワーク・FD 懇談会の充実が求められます。

折しも、平成 26 年 4 月から共通教育のカリキュラムは基礎教育として生まれ変わり、専門教育と併せて学部入学から卒業までのカリキュラム・マトリックスを踏まえた一貫教育を目指す新学士教育課程が始まります。平成 26 年度からの基礎教育では、多くの授業でのアクティブ・ラーニング実施など効果的な教育方法が導入されるほか、共通教育部は外部評価での指摘・提案事項を踏まえた組織的活動ができるように基礎教育部として改組されます。特に、各部会内での FD 活動(教員間ネットワーク)を充実させる際、本報告書を含むこれまでの 13 冊の報告書は基礎資料になると考えられます。例えば本報告書第 9 章「教員の声」には、部会教員間ネットワークですぐにでもご活用いただける教育改善の具体的かつ多彩なヒントが詰まっています。(p.65 および これまでの報告書の該当部分も参考になります。)この報告書を、26 年度からの宮崎大学基礎教育に対する理解及び新学士課程教育充実のために、役立てて頂ければ幸いです。

最後に、今回の報告書の取り纏めが大きく遅れたことをお詫びしますと共に、ご多忙中にも拘わらず、「学生による授業評価」および「教員の FD 活動レポート」にご協力頂いた授業担当教員各位に深く感謝致します。

平成 26 年 3 月

共通教育部自己点検・評価委員会委員長
飯田 雅人

目 次

I 平成 24 年度前学期	1
第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD 活動レポート	2
第2章 学生による授業評価の結果について	6
【1】全科目の平均	6
【2】科目群ごとの分析	8
第3章 教員による FD 活動レポートについて	9
【1】教育活動について	9
【2】教員の FD 活動の状況	10
【3】「コミュニケーション能力の育成」について	12
【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について	13
第4章 科目ごとのデータ一覧	15
II 平成 24 年度後学期	27
第5章 実施の記録	28
第6章 学生による授業評価の結果について	29
【1】全科目の平均	29
【2】科目群ごとの分析	31
第7章 教員による FD 活動レポートについて	32
【1】教育活動について	32
【2】教員の FD 活動の状況	33
【3】「コミュニケーション能力の育成」について	34
【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について	35
第8章 科目ごとのデータ一覧	36
III 全体について	45
第9章 教員の声(FD レポートの自由記述欄)	46
第10章 今後の課題	62
【1】「アクティヴ・ラーニング」と「自学自習」の関連性の検証	62
【2】「教員のFD活動レポート」の回収率向上のための抜本的対策	63
【3】教員の声(FD レポート自由記述欄)のFD研修への活用	65
「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿	66

I 平成 24 年度前学期

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成24年度前学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成24年(2012年)7月の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(235科目)。
実施方法	実務は学生支援部共通教育支援室と教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育・学生支援センター(同上)が集計作業をおこなった。
回収率	91%(235科目中215科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出してもらった。 その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が集計作業をおこなった。なお、未提出者にはメールで催促し、別途提出してもらった。(31科目が追加提出された。) 提出率は89%(235科目中、208科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。 更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物を次ページ以降に掲載した。なお、実際には、「科目コード」「授業科目」「担当教員」に各教員名及び授業名等のデータがあらかじめ記入されたものが配布される。

記入にあたっては、真剣に、かつ、率直な評価をしてください。この調査を教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ります。なお、この調査とあなたの成績とは一切関係ありません。

科目コード: 授業科目: 担当教員:
 達成目標:

I. 質問項目:

A: 受講・勉学態度等に関して

- 1 私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。
- 2 私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
予習や復習/重要事項の書き留め/課題の提出/授業内・外での教師への質問(オフィスアワーの活用)、等
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B: 担当教員の教授技法や授業内容等に関して

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。
教室の照明/空調/机・椅子などの備品の状態、等(適切でない場合、自由記述欄に具体的に)

D: 総合的な授業評価

- 12 総合的に判断して、この授業は満足できるものだった。

II. 回答欄:

所属等: 学籍番号のはじめの4ケタを記入してください。

次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④~①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④: あてはまる ③: ややあてはまる ②: あまりあてはまらない ①: あてはまらない

		マーク欄				自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想)	
A	1	④	③	②	①		
	2	④	③	②	①		
	3	④	③	②	①		
B	4	④	③	②	①		
	5	④	③	②	①		
	6	④	③	②	①		
	7	④	③	②	①		
	8	④	③	②	①		
C	9	④	③	②	①		
	10	④	③	②	①		
D	11	④	③	②	①		②、①の場合具体的に:
	12	④	③	②	①		

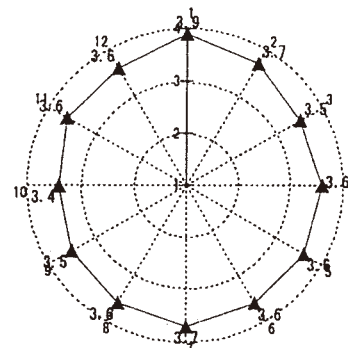
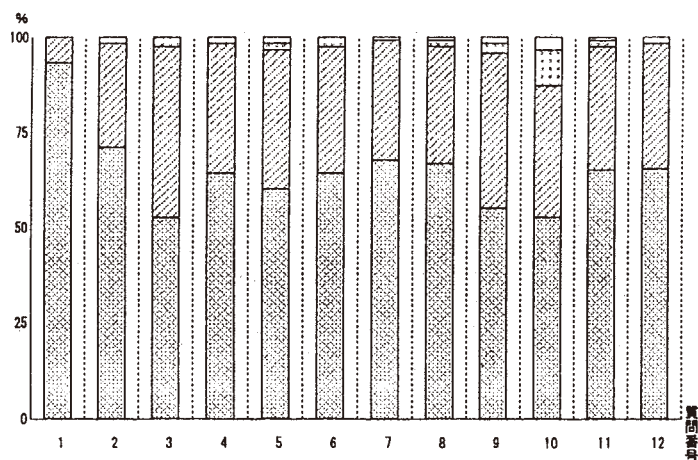
III. その他、この授業について、よかったこと、改善を求めたいこと、等の意見や感想を自由に述べてください。

「学生による授業評価」の結果報告書

科目コード		科目区分	共通教育		
授業科目					
担当教官		実施時期	平成24年度 前学期	回答者数	118

I. 集計結果

No.	質問項目	4	3	2	1	合計
1	私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。	110	8	0	0	118
2	私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。	84	32	2	0	118
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	62	53	3	0	118
4	授業はシラバスに沿って行われた。	76	40	2	0	118
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	71	43	2	2	118
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。	76	39	3	0	118
7	重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。	80	37	0	1	118
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	79	36	2	1	118
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	65	48	3	2	118
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。	62	41	11	4	118
11	学習環境は適切だった。	77	38	2	1	118
12	この授業は満足できるものだった。	78	39	0	2	119
		920	454	30	13	1417



II. 受講生の授業評価を受けて、分かったこと、感想、改善すべきことなど
回答用紙で確認ください。

「共通教育担当教員 FD 活動レポート」

※各教員が下記の(1)～(22)の問いへの答えを web 上から入力する。

(1)担当授業科目名, (2)科目コード, (3)回答者名

【教育活動について】

- (4)シラバスに沿って授業を行えた。(あてはまる・ややあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない)
- (5)学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。(同上)
- (6)話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。(同上)
- (7)重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。(同上)
- (8)学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。(同上)
- (9)授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。(同上)
- (10)総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。(同上)
- (11)シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。(同上)

【FD活動について】

- (12)この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(復習回答可)
(他教員の授業参観・学内外のFD講演会等への参加・他大学のFD活動の視察・その他)
- (13)今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)(同上)
- (14)自分の授業の評価できる点や反省すべき点, 或いは, このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。
- (15)FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

【「コミュニケーション能力の育成」について】

- (16)授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。(はい・いいえ)
- (17)下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)
(聞いて理解する・読んで理解する・自分の考えをまとめて話す・自分の考えを文章にまとめる)
- (18)「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

【「地域を教材とする共通教育プログラム」について】

- (19)授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。(はい・いいえ)
- (20)講義中で取り上げるおよその回数を選んでください。(1回～5回・6回～10回・11回～15回)
- (21)「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)
(歴史・文化, 政治・経済・産業, 自然環境・フィールド体験, その他)
- (22)「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら, 記述ください。

第2章 学生による授業評価の結果について

【1】全科目の平均

前学期のすべての共通教育科目(全 235 科目のうち回収された 215 科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである。(小数第2位以下は四捨五入した。)

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目の平均	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.7	3.7	3.5

評価は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

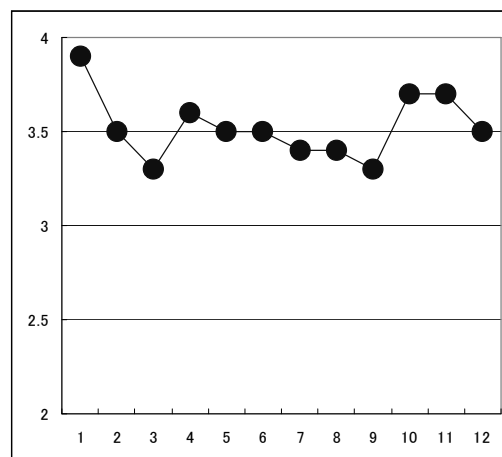


図 質問項目ごとの全科目の平均
(※縦軸の評価 2 未満の目盛は省いた。)

以上の結果から次のことが読み取れる。

(i) 学生自身に関して

「1 出席状況」は良好(3.9)であるが、それに比べて、「3 達成目標に達した」と自己評価している学生の比率はやや低い(3.3)。この傾向は、ここ数年、変わらない。

(ii) 教員の教え方に関して

最も評価が高いのは「4 シラバスに沿って授業が行われたこと」(3.6)であり、最も評価が低いのは「9 予習や復習を課したこと」(3.3)である。この傾向も、ここ数年、変わらない。

(iii) 学習環境に関して

「10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった」(3.7)と「11 学習環境は適切だった」(3.7)とあるので、評価は高い。昨年度前学期はいずれも(3.6)だったので、やや改善されたと言える。

- ・ 「学生の目標達成度」(質問項目3)と「予習復習を課すこと」(質問項目9)が、数年来の課題である。
- ・ 学習環境(質問項目10, 11)への評価は改善された。

【2】科目群ごとの分析

共通教育科目を16の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している。

質問項目		学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.7	3.7	3.5
大学 教育 基礎 科目	(1)大学入門セミナー	3.9	3.6	3.4	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	3.8	3.8	3.6
	(2)情報科学入門	3.9	3.6	3.5	3.7	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4
	(3)英語	3.8	3.4	3.2	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5
	(4)コミュニケーション英語	3.9	3.5	3.2	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.8	3.8	3.6
	(5)保健体育科目	3.9	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.3	3.7	3.6	3.7
主題 教養 科目	(6)環境と生命	3.9	3.5	3.4	3.7	3.4	3.6	3.5	3.5	3.2	3.6	3.6	3.5
	(7)倫理と文化	3.9	3.4	3.2	3.6	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5	3.5	3.3
	(8)現代社会の課題	3.8	3.2	3.0	3.6	3.4	3.3	3.1	3.1	2.8	3.4	3.5	3.3
	(9)自然の仕組み	3.9	3.4	3.2	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.6	3.6	3.3
選択 教養 科目	(10)文化・社会系	3.8	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.1	3.4	3.5	3.4
	(11)科学・技術系	3.8	3.3	3.1	3.4	3.0	3.2	3.0	3.0	3.1	3.6	3.6	3.2
	(12)生命科学系	3.8	3.5	3.3	3.6	3.4	3.6	3.5	3.5	3.2	3.7	3.6	3.5
	(13)複合・学際系	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9	3.3	3.7	3.9	4.0
	(14)キャリア・生涯学習系	3.8	3.6	3.5	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5	3.6	3.7
	(15)外国語系	3.9	3.6	3.3	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	3.8	3.8	3.6
(16)日本語・日本事情	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	

- ・「保健体育科目」、「複合・学際系」、「キャリア・生涯学習系」、「日本語・日本事情」が、全科目平均より高い評価の項目が多い。

第3章 教員によるFD活動レポートについて

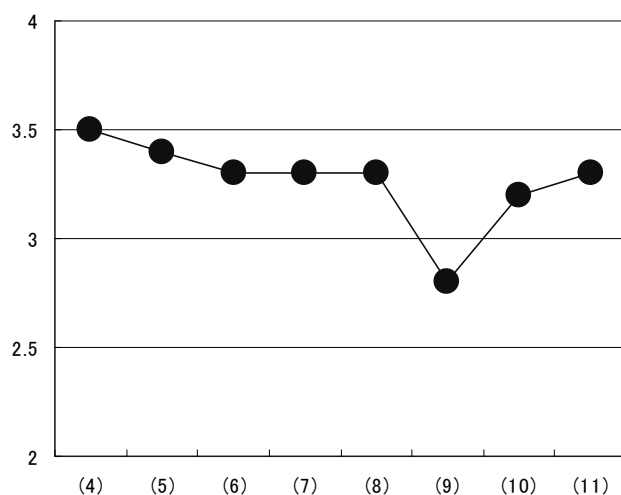
教員自身が自分の教育活動をどのように評価しているかを見ていこう。

【1】教育活動について

以下の設問への回答は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。回答の平均値を()の中に示した。

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (4) シラバスに沿って授業を行えた。 | (3.5) |
| (5) 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。 | (3.4) |
| (6) 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。 | (3.3) |
| (7) 重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。 | (3.3) |
| (8) 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。 | (3.3) |
| (9) 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。 | (2.8) |
| (10) 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。 | (3.2) |
| (11) シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。 | (3.3) |

グラフにすると次のとおりである。



これらの平均値を見ると、「(4)シラバスに沿って授業をおこなう」という項目の達成度が高い一方で、「(9)予習・復習或いは発展学習を課した」という項目の達成度が低いことが分かる。昨年度と同様の傾向である。

- ・ 「予習・復習或いは発展学習を課した」という項目の達成度が低い。

【2】教員のFD活動の状況

(12) この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 29 人

学内外のFD講演会等への参加 65 人

他大学のFD活動の視察 8 人

その他(自由記述)

- ・国際学会
- ・授業公開
- ・関連教科書の収集
- ・教員間ネットワークに参加
- ・名札の導入、進度の確認シール
- ・FD 関連資料の閲覧
- ・FD 報告書の閲覧
- ・学生に時々授業の進め方について聞いた。
- ・教材開発
- ・講座内における FD 懇談会
- ・授業準備の充実
- ・授業内容について繰り返し点検した。
- ・授業内容の反省
- ・他の教員との情報交換
- ・他講師との情報交換、資料収集、自らの TOEIC 受験
- ・中国語教育に関する論文を読む。

(13) 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)

他教員の授業参観 58 人

学内外のFD講演会等への参加 86 人

他大学のFD活動の視察 17 人

その他(自由記述)

- ・FD 関連資料の閲覧
- ・国際学会
- ・教員間ネットワークに参加
- ・教材のより適確な選定
- ・教材開発
- ・講座内における FD 懇談会
- ・授業準備の充実

- 授業内容そのものの改善,これがコアだと考える。
- 他の教員との意見交換

【3】「コミュニケーション能力の育成」について

(16) 授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。

はい95 人

いいえ47 人

(17) 下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)

聞いて理解する55 人

読んで理解する42 人

自分の考えをまとめて話す23 人

自分の考えを文章にまとめる64 人

(18) 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

- ・グループワーク
- ・他者の意見を参考に考えを発展させる。
- ・英作文能力の育成
- ・互いの文化の違いを理解する。
- ・ディベート能力の向上
- ・ペアを作った対話練習
- ・クラスメイトと意見交換をしたり、Q&A をしたりする。
- ・大きな声での確かな指示を与える。
- ・質問票を次回講義に活用する。
- ・毎回、グループの目標設定を行わせ、その達成に向けてのグループ練習を課した。

【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について

(19) 授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。

はい 38 人

いいえ 156 人

(20) 講義中で取り上げるおおよその回数を選んでください。

1 回～5 回 35 人

6 回～10 回 0 人

11 回～15 回 3 人

(21) 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)

歴史・文化 21 人

政治・経済・産業 14 人

自然環境・フィールド体験 21 人

(22) 「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

- ・M-KID'S エクササイズの実施
- ・スポーツ医学:宮崎県国体のメディカルチェックを題材にした。
- ・言語学的観点から宮崎や九州の方言

【5】教員の声(FD レポートの自由記述欄)

これについては、後学期のものと一緒に第9章(46 ページ以降)に記載した。

【自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。】

【「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。】

第4章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成24年度前学期のすべての共通教育科目(235科目)のうち「学生による授業評価」が提出された215科目のデータを掲載する。科目名, 担当教員名等は掲載しない。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価である。

また, 質問項目は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 満足できる授業だった。

科目の順番は質問12(総合満足度)の評価の高い順に並べ直してある。科目名・担当教員名は記載していないが, 担当教員には既に当該科目の集計結果を返却してあるので, このデータと照合することによって, 自分への評価と他の教員への評価を比較することができる。

【1】大学入門セミナー(27科目)

No.	学部	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	E	4.0	4.0	3.2	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0
2	E	3.9	3.7	3.6	3.6	3.8	3.7	3.6	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
3	E	4.0	3.5	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.2	3.5	4.0	3.9	3.8
4	E	4.0	3.9	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	4.0	3.8
5	T	3.8	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.7	3.7	3.8
6	E	4.0	4.0	3.7	3.7	4.0	4.0	3.5	3.2	3.2	3.8	3.8	3.7
7	E	3.7	3.2	3.0	3.5	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	4.0	4.0	3.7
8	E	4.0	3.5	3.4	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.9	3.9	3.7
9	E	4.0	3.6	3.3	3.6	3.6	3.5	3.5	3.2	3.4	3.8	3.8	3.7
10	E	4.0	3.2	3.3	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.2	3.9	4.0	3.7
11	A	3.9	3.7	3.5	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.2	3.8	3.7	3.7
12	A	4.0	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	2.9	3.8	3.8	3.7
13	A	3.9	3.7	3.5	3.9	3.9	3.8	3.6	3.6	3.4	3.9	3.9	3.7
14	T	3.9	3.4	3.3	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.7	3.6	3.7
15	E	3.9	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.8	3.7	3.7
16	E	4.0	3.2	3.2	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.3	3.8	3.6	3.6
17	A	4.0	3.5	3.2	3.8	3.5	3.6	3.4	3.7	3.4	3.8	3.8	3.6
18	T	3.8	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.8	3.7	3.6
19	A	4.0	3.8	3.5	3.8	3.7	3.5	3.5	3.5	3.0	3.8	3.7	3.6
20	A	3.8	3.7	3.4	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.4	3.7	3.8	3.6
21	T	3.9	3.7	3.4	3.7	3.2	3.3	3.3	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5
22	T	3.9	3.5	3.3	3.7	3.4	3.6	3.4	3.5	3.2	3.7	3.7	3.5
23	M	3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5
24	E	3.7	3.3	3.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.4
25	T	3.8	3.4	3.2	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	3.2	3.7	3.6	3.4
26	T	3.9	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.4	3.6	3.6	3.3
27	N	3.9	3.7	3.5	3.6	3.6	3.4	3.3	3.2	3.1	3.7	3.7	3.3

※2科目が未提出。

【2】情報科学入門(16科目)

No.	学部	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	E	3.9	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8
2	E	4.0	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
3	A	3.9	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9	3.8	3.6	3.7	3.9	3.9	3.8
4	A	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7
5	T	3.9	3.8	3.7	3.8	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.9	3.8	3.7
6	A	3.9	3.7	3.5	3.9	3.6	3.6	3.5	3.2	3.5	3.8	3.8	3.6
7	A	4.0	3.6	3.6	3.8	3.6	3.7	3.4	3.3	3.1	3.9	3.8	3.5
8	E	3.9	3.4	3.3	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.6	3.7	3.5
9	T	3.9	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5
10	A	3.8	3.5	3.5	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.8	3.8	3.4
11	T	3.9	3.6	3.5	3.7	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.7	3.7	3.3
12	E	3.9	3.6	3.5	3.5	3.2	3.3	3.2	3.0	3.0	3.6	3.8	3.2
13	T	3.9	3.7	3.3	3.6	2.8	3.1	2.7	3.0	3.0	3.5	3.4	3.2
14	T	3.9	3.4	3.2	3.6	2.9	2.8	2.8	2.8	3.0	3.4	3.5	3.1
15	T	4.0	3.6	3.6	3.5	3.0	2.6	2.6	2.3	3.0	3.5	3.2	2.9
16	T	3.8	3.7	3.1	3.3	2.7	3.0	2.8	2.8	3.0	3.4	3.3	2.8

※3科目が未提出。

【3】英語(27 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.2	3.8	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	4.0	3.9	3.8
2	3.9	3.6	3.3	3.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8
3	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8
4	3.8	3.5	3.4	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.7	3.8	3.9	3.8
5	3.8	3.7	3.3	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7
6	3.9	3.4	3.2	3.9	3.8	3.8	3.6	3.5	3.5	3.7	3.4	3.6
7	3.9	3.6	3.0	3.5	3.3	3.6	3.4	3.5	3.8	3.9	3.9	3.6
8	3.7	3.6	3.2	3.6	3.5	3.4	3.6	3.4	3.6	3.8	3.8	3.6
9	3.9	3.5	3.4	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5	3.8	3.8	3.6
10	3.9	3.6	3.1	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6
11	4.0	3.1	3.1	3.5	3.2	3.5	3.2	3.2	3.2	3.8	3.8	3.5
12	3.9	3.4	2.8	3.8	3.4	3.6	3.6	3.3	3.6	3.7	3.8	3.5
13	3.9	3.2	3.2	3.5	3.1	3.3	3.1	3.2	3.3	3.7	3.6	3.4
14	3.6	3.4	3.2	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.6	3.7	3.4
15	3.7	3.3	3.1	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.6	3.5	3.4
16	3.9	3.6	3.4	3.7	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4	3.7	3.6	3.4
17	3.8	3.5	3.4	3.8	3.6	3.6	3.5	3.2	3.5	3.7	3.7	3.4
18	3.9	3.6	3.5	3.8	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	3.4
19	3.8	3.2	3.0	3.8	3.5	3.5	3.3	3.2	3.2	3.7	3.7	3.3
20	3.9	3.4	3.4	3.8	3.6	3.5	3.3	3.1	3.3	3.7	3.7	3.3
21	3.8	3.4	3.3	3.6	3.6	3.4	3.3	3.0	3.4	3.6	3.6	3.3
22	3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.6	3.5	3.1	3.3	3.7	3.5	3.3
23	4.0	3.2	2.8	3.4	3.0	3.2	3.0	3.2	3.3	3.9	3.8	3.2
24	3.6	2.9	2.8	3.2	3.0	3.1	3.2	3.0	3.1	3.5	3.4	3.2
25	3.8	3.5	3.4	3.7	3.5	3.5	3.3	2.9	3.3	3.6	3.5	3.2
26	3.8	3.3	2.6	3.7	3.1	3.4	3.4	2.9	3.3	3.6	3.5	3.1
27	3.6	3.3	3.1	3.8	3.6	3.5	3.3	3.1	3.4	3.4	3.5	3.0

※未提出の科目はない。

【4】コミュニケーション英語(34科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.8	3.4	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.4	3.4	3.8	3.9
2	4.0	3.8	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9
3	3.9	3.7	3.1	3.7	3.6	3.5	3.5	3.6	3.4	3.9	3.7	3.8
4	3.8	3.4	3.3	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.5	3.9	3.5	3.8
5	4.0	3.6	3.1	3.9	3.7	3.6	3.7	3.5	3.8	3.8	3.9	3.8
6	4.0	3.6	3.5	4.0	3.8	3.9	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8
7	3.9	3.5	3.0	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	2.9	3.8	3.7	3.8
8	4.0	3.7	3.1	3.7	3.6	3.4	3.5	3.3	3.4	3.9	3.8	3.7
9	3.8	3.6	3.3	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.4	3.9	3.5	3.7
10	3.9	3.6	3.0	3.7	3.8	3.7	3.5	3.7	3.2	3.7	3.8	3.7
11	3.9	3.5	3.2	3.6	3.7	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	4.0	3.7
12	3.9	3.3	3.3	3.9	4.0	3.9	3.8	3.6	3.7	3.9	3.9	3.7
13	3.9	3.6	3.2	3.7	3.5	3.6	3.4	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7
14	3.9	3.5	3.3	3.6	3.7	3.8	3.7	3.5	3.4	3.9	3.8	3.7
15	4.0	3.5	3.1	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.9	4.0	3.7
16	4.0	3.4	2.9	3.8	3.9	3.9	3.5	3.6	2.9	3.8	3.8	3.7
17	3.9	3.3	3.0	3.6	3.7	3.8	3.7	3.3	3.4	3.8	3.8	3.6
18	3.9	3.8	3.5	3.7	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6	3.9	3.8	3.6
19	4.0	3.5	3.0	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.2	3.2	3.8	3.6
20	3.9	3.4	3.1	3.6	3.5	3.7	3.4	3.4	3.5	3.8	3.8	3.6
21	3.9	3.1	2.8	3.4	3.4	3.5	3.6	3.3	3.0	3.8	3.7	3.5
22	4.0	3.5	3.5	3.7	3.6	3.6	3.5	3.3	3.7	3.9	3.9	3.5
23	3.9	3.6	3.2	3.9	3.5	3.5	3.3	3.1	3.6	3.6	3.7	3.5
24	3.8	3.4	3.1	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.0	3.6	3.7	3.5
25	3.8	3.7	3.3	3.6	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.8	3.7	3.5
26	3.9	3.5	3.3	3.9	3.6	3.4	3.4	3.3	3.5	3.8	3.7	3.5
27	3.9	3.2	2.7	3.6	3.4	3.5	3.5	3.2	3.4	3.7	3.8	3.4
28	3.9	3.5	2.9	3.6	3.6	3.4	3.1	3.2	3.4	3.6	3.8	3.4
29	3.9	3.5	3.1	3.2	3.4	3.6	3.6	3.5	3.3	3.6	3.6	3.4
30	3.8	3.0	3.0	3.3	3.4	3.2	3.3	2.9	3.2	3.6	3.6	3.3
31	3.9	3.3	3.1	3.3	3.2	3.1	3.0	2.7	3.5	3.7	3.6	3.2
32	3.8	3.4	3.1	3.4	3.2	3.1	3.1	2.9	3.2	3.7	3.7	3.2
33	3.9	3.4	3.0	3.5	2.9	3.1	2.7	3.0	3.1	3.7	3.8	3.1
34	3.9	3.2	3.0	3.6	3.3	2.9	2.9	2.8	3.4	3.6	3.7	3.1

※1科目が未提出。

【5】保健体育科目(21科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.9	3.85	3.9	3.85	3.8	3.3	3.8	3.8	3.85	3.8	3.9
2	3.9	3.9	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.5	4.0	3.9	3.9
3	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	3.8	3.0	3.9	3.7	3.9
4	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.5	3.9	3.7	3.9
5	3.95	3.9	3.85	3.85	3.9	3.35	3.8	3.8	2.5	3.9	3.65	3.85
6	4.0	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.8
7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8
8	3.9	3.8	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.2	3.6	3.6	3.8
9	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.4	3.6	3.5	3.7
10	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7
11	3.9	3.9	3.5	3.8	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4	3.8	3.7	3.7
12	3.9	3.8	3.5	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.6	3.6	3.7
13	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	3.3	3.8	3.5	3.7
14	3.9	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7
15	4.0	3.9	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.1	2.9	3.3	3.7
16	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.4	3.4	3.4	3.6	3.5	3.6
17	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.5	3.5	3.1	3.7	3.2	3.6
18	3.9	3.5	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.7	3.5	3.6
19	3.9	3.4	3.5	3.8	3.4	3.5	3.4	3.3	2.5	3.7	3.6	3.6
20	3.9	3.7	3.5	3.3	3.5	3.4	3.3	3.2	2.9	3.6	3.2	3.4
21	3.9	3.4	3.3	3.6	3.3	3.5	3.3	3.3	3.0	3.4	3.5	3.4

※5 科目が未提出。

【6】主題教養科目(環境と生命)(9科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8
2	3.9	3.7	3.6	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.8
3	3.8	3.6	3.5	3.8	3.3	3.5	3.5	3.4	3.3	3.7	3.8	3.7
4	3.9	3.5	3.3	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5	3.0	3.7	3.5	3.5
5	3.9	3.5	3.4	3.6	3.3	3.4	3.4	3.4	3.1	3.4	3.5	3.4
6	3.9	3.5	3.4	3.6	3.3	3.5	3.4	3.4	3.2	3.5	3.6	3.4
7	3.9	3.4	3.3	3.8	3.5	3.6	3.3	3.4	2.9	3.5	3.6	3.4
8	3.8	3.4	3.4	3.7	3.2	3.4	3.3	3.3	3.1	3.4	3.5	3.4
9	3.9	3.2	3.2	3.6	3.1	3.4	3.3	3.2	2.9	3.1	3.4	3.2

※未提出の科目はない。

【7】主題教養科目(倫理と文化)(12科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.6	3.6
2	3.9	3.5	3.4	3.5	3.4	3.2	3.1	3.1	2.4	3.7	3.6	3.5
3	3.9	3.2	3.3	3.5	3.5	3.4	3.3	3.5	3.2	3.7	3.2	3.5
4	3.9	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5	3.7	3.5
5	3.9	3.7	3.5	3.7	3.7	3.6	3.3	3.3	3.1	3.8	3.8	3.5
6	4.0	3.6	3.3	3.7	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1	3.7	3.6	3.3
7	3.9	3.2	3.1	3.7	3.3	3.6	3.3	3.2	3.0	3.7	3.6	3.3
8	3.9	3.5	3.0	3.5	3.1	3.2	3.0	3.2	3.0	3.4	3.6	3.3
9	3.9	3.2	3.0	3.6	3.5	3.2	3.1	3.1	2.7	2.8	3.3	3.2
10	3.8	3.2	3.2	3.5	3.1	2.9	2.9	3.0	3.0	3.6	3.6	3.1
11	3.9	3.2	3.0	3.4	2.9	3.0	2.8	2.9	2.7	3.5	3.6	3.1
12	3.9	3.2	3.0	3.3	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.8	3.1	2.9

※未提出の科目はない。

【8】主題教養科目(現代社会の課題)(11科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.7	3.1	3.1	3.7	3.8	3.6	3.6	3.5	3.2	3.8	3.8	3.7
2	3.8	3.2	3.1	3.7	3.7	3.4	3.5	3.3	2.9	3.8	3.7	3.5
3	3.9	3.3	3.3	3.7	3.7	3.4	3.2	3.3	2.9	3.7	3.7	3.5
4	3.8	3.3	3.2	3.6	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.4	3.6	3.4
5	3.9	3.2	2.9	3.8	3.4	3.5	3.3	3.0	2.6	3.6	3.6	3.4
6	3.8	3.2	3.0	3.4	3.2	3.1	2.9	3.0	2.9	3.6	3.5	3.2
7	3.9	3.3	3.3	3.7	3.5	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	3.1	3.2
8	3.8	2.6	2.5	3.5	3.0	3.3	2.7	2.8	2.3	3.6	3.6	3.0
9	3.8	3.2	3.1	3.4	3.0	3.1	2.9	3.0	2.8	2.7	3.2	3.0
10	3.8	3.0	2.8	3.5	3.2	3.2	3.0	2.8	2.6	3.4	3.5	3.0
11	3.8	3.3	3.1	3.4	3.0	3.0	2.9	2.8	2.9	3.2	3.3	3.0

※1 科目が未提出。

【9】主題教養科目(自然の仕組み)(24科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.7	3.7	3.5	3.8	3.7	3.8	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.7
2	3.9	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	3.5	3.6	3.7	3.7
3	3.9	3.5	3.4	3.7	3.7	3.4	3.5	3.3	3.7	3.9	3.8	3.6
4	3.9	3.6	3.3	3.5	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.8	3.8	3.6
5	3.9	3.6	3.4	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4	3.5	3.7	3.8	3.6
6	3.9	3.7	3.3	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.6	3.7	3.6
7	3.9	3.6	3.1	3.6	3.1	3.5	3.4	3.4	3.4	3.7	3.7	3.5
8	3.9	3.6	3.5	3.7	3.5	3.3	3.3	3.2	3.3	3.7	3.7	3.5
9	3.9	3.4	3.2	3.6	3.5	3.5	3.4	3.3	3.4	3.5	3.4	3.5
10	3.8	3.4	3.2	3.7	3.5	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.5
11	3.8	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.3	3.0	3.3	3.7	3.6	3.4
12	3.9	3.4	2.9	3.6	3.0	3.1	3.1	3.1	3.0	3.7	3.4	3.3
13	4.0	3.3	3.3	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.7	3.6	3.3
14	3.9	3.5	3.0	3.5	2.8	3.5	3.2	3.0	2.8	3.8	3.8	3.3
15	3.9	3.6	3.4	3.6	3.2	3.3	3.1	3.0	3.2	3.8	3.6	3.3
16	3.9	3.2	3.0	3.6	3.2	3.3	3.2	3.0	3.4	3.5	3.5	3.3
17	3.9	3.2	2.8	3.5	3.1	3.3	3.2	3.2	2.9	3.3	3.3	3.3
18	3.9	3.1	3.1	3.1	3.4	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0	3.5	3.2
19	3.9	3.5	3.2	3.5	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.2
20	3.9	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.0	2.8	3.0	3.4	3.5	3.1
21	3.8	3.3	3.1	3.5	3.1	3.1	2.9	2.8	2.7	3.3	3.3	3.0
22	3.8	3.3	3.0	3.3	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	3.6	3.5	2.9
23	3.9	3.5	3.2	2.9	3.0	2.9	2.7	2.8	3.0	3.5	3.6	2.9
24	3.9	3.1	3.1	3.5	3.0	3.0	2.8	2.6	3.4	3.7	3.7	2.9

※未提出の科目はない。

【10】選択教養科目(文化・社会系)(7科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.4	3.6	3.7	3.7
2	3.9	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.2	3.4	3.6	3.6
3	3.9	3.6	3.3	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.2	3.4	3.5	3.5
4	3.8	3.4	3.4	3.6	3.5	3.3	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.4
5	3.9	3.3	3.1	3.6	3.2	3.4	3.3	2.9	3.2	3.7	3.7	3.3
6	3.8	3.4	3.2	3.4	3.3	3.1	3.0	3.0	3.0	3.6	3.5	3.2
7	3.8	3.1	2.8	3.5	2.8	3.1	2.9	2.9	2.9	3.2	3.5	3.0

※3科目が未提出。

【11】選択教養科目(科学・技術系)(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.8	3.6	3.7	3.7	3.5	3.5	3.5	3.3	3.7	3.8	3.7
2	3.8	3.4	3.4	3.6	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.7	3.7	3.6
3	3.8	3.2	3.0	3.5	3.2	3.5	3.3	3.1	3.3	3.7	3.7	3.4
4	3.8	3.3	3.2	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	2.8	3.5	3.6	3.3
5	3.8	2.9	2.9	3.1	2.2	3.0	2.5	2.8	3.0	3.5	3.2	3.0
6	3.8	3.2	2.7	3.1	2.2	2.6	2.0	2.4	2.9	3.5	3.5	2.4

※1科目が未提出。

【12】選択教養科目(生命科学系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.5	3.2	3.7	3.5	3.8	3.6	3.7	3.2	3.8	3.7	3.7
2	3.9	3.6	3.6	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.1	3.8	3.8	3.7
3	3.9	3.5	3.1	3.6	2.6	3.3	3.2	3.6	3.0	3.8	3.6	3.5
4	3.8	3.3	3.4	3.7	3.5	3.7	3.4	3.5	3.3	3.5	3.6	3.5
5	3.7	3.4	3.3	3.4	3.5	3.3	3.4	3.3	3.2	3.6	3.5	3.3

※未提出の科目はない。

【13】選択教養科目(複合・学際系)(2科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.8	3.6	3.8	3.8	4.0	3.7	3.8	3.3	3.8	4.0	4.0
2	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.2	3.6	3.8	3.9

※1 科目が未提出。

【14】選択教養科目(キャリア・生涯学習系)(4科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.5	3.8	3.9	3.9
2	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.8
3	3.9	3.5	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.4	3.4	3.5	3.7
4	3.8	3.2	3.1	3.6	3.5	3.2	3.3	3.0	2.8	3.3	3.4	3.3

※未提出の科目はない。

【15】選択教養科目(外国語系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
2	3.8	3.9	3.0	3.9	3.6	3.9	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0
3	3.8	3.2	3.1	3.7	3.6	3.7	3.6	3.4	3.5	3.8	3.8	3.6
4	4.0	3.4	3.0	3.0	3.0	3.3	3.0	3.1	3.0	3.5	3.6	3.3
5	3.8	3.5	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	3.2	3.5	3.6	3.6	3.3

※3科目が未提出。

【16】選択教養科目(日本語・日本事情)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0
2	3.5	3.5	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.6	3.5	3.8	3.8	3.6
3	3.5	3.4	3.4	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	3.7	3.5
4	3.7	3.5	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.7	3.4	3.6	3.4
5	3.8	3.7	3.6	3.8	3.8	3.6	3.6	3.5	3.6	3.4	3.7	3.4

※未提出の科目はない。

Ⅱ 平成 24 年度後学期

第5章 実施の記録

平成24年度後学期の共通教育科目に関する「学生による授業評価」及び「教員のFD活動レポート」は次のように実施された。

実施時期	平成25年(2013年)1月下旬～2月上旬の授業期間中。
対象科目	すべての共通教育科目(192科目)。
実施方法	実務は学生支援部共通教育支援室と教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、教育・学生支援センター(同上)が集計作業をおこなった。
回収率	81%(192科目中, 156科目を回収した。)
返却	各教員には調査票の現物とともに「結果報告書」を返却した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、常勤教員は原則Web入力によった。非常勤教員に関しては所定用紙を配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出してもらった。 その後、「学生による授業評価」アンケートと同様に教育・学生支援センター(武方壮一准教授)が集計作業をおこなった。 提出率は54%(192科目中, 104科目分のFD活動レポートが提出された。)
報告	すべての科目の集計結果(生データ)は共通教育部自己点検・評価委員会に報告され、報告書は当該報告に基づき同委員会報告書作成WGが作成した。 更に、報告書は同委員会に上程され、最終的に了承された。

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物は第1章に掲載してある。

第6章 学生による授業評価について

【1】全科目の平均

後学期のすべての共通教育科目(全 192 科目のうち回収された 156 科目)について、質問項目ごとに評価点の平均を計算すると次の通りである。(小数第2位以下は四捨五入した。)

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
全科目の平均	3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

上の表をグラフにすると右の通りである。横軸は質問項目を、縦軸は評価点の平均を示している。

質問は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

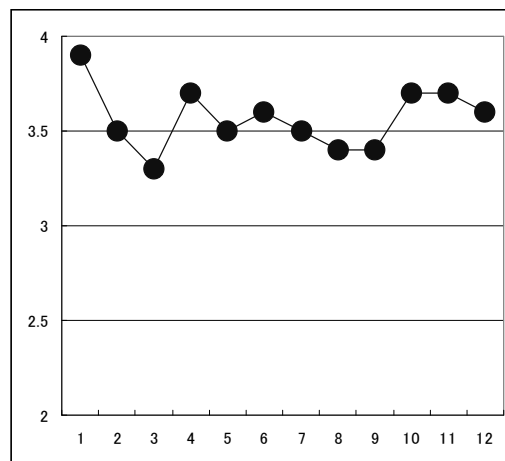


図 質問項目ごとの全科目の平均
(※縦軸の評価 2 未満の目盛は省いた。)

以上の結果から次のことが読み取れる。

(i) 学生自身に関して

「1 出席状況」は良好(3.9)であるが、それに比べて、「3 達成目標に達した」と自己評価している学生の比率はやや低い(3.3)。これは前学期と同じである。

(ii) 教員の教え方に関して

最も評価が高いのは「4 シラバスに沿って授業が行われたこと」(3.7)であり、最も評価が低いのは「9 予習や復習を課したこと」(3.4)である。これも前学期と同じである。

(iii) 総合的な授業評価に関して

「12 この授業は満足できるものだった」(3.6)は昨年度後学期の(3.5)より上昇している。満足度はやや改善されたと言える。

- ・ 「学生の目標達成度」(質問項目3)と「予習復習を課すこと」(質問項目9)が、数年来の課題である。
- ・ 総合的な満足度(質問項目12)はやや改善された。

【2】科目群ごとの分析

共通教育科目を15の科目群に分類した場合の評価点の平均は次の通りである。また、「初修外国語」は通年の評価である。

太字の値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上高いことを、他方、網掛けの値は「全科目平均」と比べて0.2ポイント以上低いことを示している。

質問項目		学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6
大学 教育 基礎 科目	(1)情報科学入門												
	(2)英語	3.8	3.4	3.3	3.7	3.6	3.6	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5
	(3)コミュニケーション英語	3.9	3.5	3.3	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.6
	(4)初修外国語	3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.5	3.4	3.3	3.4	3.7	3.7	3.5
	(5)保健体育科目	3.9	3.7	3.5	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.4	3.7	3.8	3.8
主題 教養 科目	(6)環境と生命	3.9	3.5	3.3	3.7	3.4	3.5	3.4	3.4	3.1	3.6	3.6	3.5
	(7)倫理と文化	3.9	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.2	3.4	3.6	3.4
	(8)現代社会の課題	3.8	3.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.6	3.6	3.3
	(9)自然の仕組み	3.8	3.3	3.0	3.5	3.0	3.2	3.0	3.0	3.0	3.5	3.6	3.1
選択 教養 科目	(10)文化・社会系	3.9	3.3	3.2	3.7	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.7	3.6
	(11)科学・技術系	3.8	3.4	3.2	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.6	3.7	3.4
	(12)生命科学系	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.2	3.8	3.8	3.7
	(13)複合・学際系	3.9	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.4	3.4	3.7	3.7
	(14)キャリア・生涯学習系	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9
	(15)外国語系	3.9	3.8	3.3	3.9	3.9	3.9	3.6	3.8	3.6	3.9	3.9	3.9

- ・「保健体育科目」、「キャリア・生涯学習系」、「外国語系」が、全科目平均より高い評価の項目が多い。

第7章 教員によるFD活動レポートについて

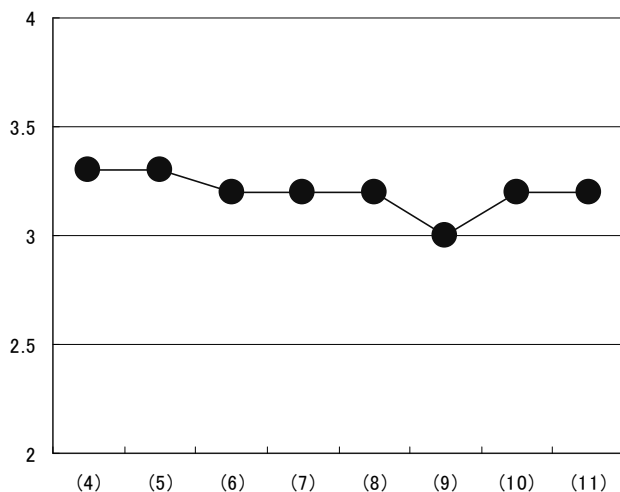
教員自身が自分の教育活動をどのように評価しているかを見ていこう。

【1】教育活動について

以下の設問への回答は「4:あてはまる, 3:ややあてはまる, 2:あまりあてはまらない, 1:あてはまらない」の4段階で行われている。回答の平均値を()の中に示した。

- | | |
|--|---------|
| (4) シラバスに沿って授業を行えた。 | (3.3) |
| (5) 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。 | (3.3) |
| (6) 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。 | (3.2) |
| (7) 重要ポイントを明示し, 分かり易く説明した。 | (3.2) |
| (8) 学習意欲や知的的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。 | (3.2) |
| (9) 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。 | (3.0) |
| (10) 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。 | (3.2) |
| (11) シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。 | (3.2) |

グラフにすると次のとおりである。



前学期と同様に、「(9) 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。」という項目の評価が低い。この点が最大の課題である。

- ・ 「予習・復習或いは発展学習を課した」という項目の達成度が低い。

【2】教員のFD活動の状況

(12) この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)

- 他教員の授業参観 13 人
学内外のFD講演会等への参加 29 人
他大学のFD活動の視察 14 人
その他(自由記述)
- ・FD 関連書類の閲覧
 - ・教育内容の点検
 - ・教科書作成
 - ・教材の充実
 - ・授業資料の作成
 - ・授業内容のより分かり易い説明の題材・仕方を良く考えた。
 - ・他教員との授業についての意見交換

(13) 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)

- 他教員の授業参観 18 人
学内外のFD講演会等への参加 32 人
他大学のFD活動の視察 10 人
その他(自由記述)
- ・FD 関連書類の閲覧
 - ・他教員との授業についての意見交換
 - ・いつもより良い授業のための題材・仕方について練り続けること
 - ・さらなる教材の充実
 - ・学会の際に他大学の教授と意見交換
 - ・教育内容の点検
 - ・教師用授業研究 DVD を購入・研究したい

【3】「コミュニケーション能力の育成」について

(16) 授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか。

はい 81 人

いいえ 10 人

(17) 下記のどの点を重視しましたか。(複数回答可)

聞いて理解する 44 人

読んで理解する 47 人

自分の考えをまとめて話す 23 人

自分の考えを文章にまとめる 30 人

(18) 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら記述してください。

・速く読み、速く考え、速く書く。

・相手とやり取りする

・初歩的なディベート体験

・ダブルスの試合

・ペア会話練習

・音読

・外国人との相互理解

【4】「地域を教材とする共通教育プログラム」について

(19) 授業の中で「地域(宮崎)を教材とする」内容が含まれていますか。

はい 15 人

いいえ 65 人

(20) 講義中で取り上げるおおよその回数を選んでください。

1 回～5 回 11 人

6 回～10 回 3 人

11 回～15 回 1 人

(21) 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)

歴史・文化 7 人

政治・経済・産業 8 人

自然環境・フィールド体験 8 人

その他(自由記述)

・教育・社会

第8章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成 24 年度後学期のすべての共通教育科目(192 科目)のうち、「学生による授業評価」が提出された 156 科目のデータを掲載する。科目名, 担当教員名等は掲載しない。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階で行われている。

また, 質問項目は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方, 板書の仕方, 機器又は器具の使い方, 等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで, 説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

科目の順番は質問 12(総合満足度)の評価の高い順に並べ直してある。科目名・担当教員名は記載していないが, 担当教員には既に当該科目の集計結果を返却してあるので, このデータと照合することによって, 自分への評価と他の教員への評価を比較することができる。

【1】情報科学入門 M(0 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------

※1 科目が未提出。

【2】英語(24 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.4	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
2	3.8	3.6	3.3	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8
3	3.9	3.4	3.2	3.6	3.3	3.5	3.5	3.4	3.2	3.7	3.7	3.7
4	3.6	3.3	3.2	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.7	3.7
5	3.9	3.6	3.3	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.7	3.8	3.8	3.7
6	4.0	3.7	3.5	3.9	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8	3.7
7	3.8	3.3	3.1	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7
8	4.0	3.5	3.2	3.5	3.2	3.5	3.3	3.4	3.3	4.0	4.0	3.6
9	3.9	3.6	3.5	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5	3.8	3.8	3.6
10	3.5	3.2	3.2	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.4	3.6	3.6	3.5
11	3.9	3.7	3.5	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.8	3.7	3.5
12	3.7	3.3	3.0	3.8	3.5	3.6	3.5	3.2	3.4	3.7	3.7	3.5
13	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.7	3.4	3.2	3.5	3.8	3.7	3.5
14	4.0	3.5	3.3	3.5	3.5	3.6	3.1	3.0	3.3	3.7	3.7	3.4
15	3.8	3.4	2.8	3.8	3.4	3.7	3.5	3.2	3.7	3.9	3.8	3.4
16	3.8	3.0	2.8	3.7	3.4	3.6	3.6	3.2	3.4	3.6	3.6	3.4
17	3.8	3.5	3.6	3.8	3.7	3.6	3.5	3.3	3.5	3.7	3.6	3.4
18	3.8	3.4	3.3	3.7	3.6	3.5	3.4	3.2	3.4	3.6	3.5	3.4
19	3.8	3.4	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.2	3.4	3.7	3.5	3.3
20	3.8	3.4	3.5	3.7	3.6	3.5	3.3	3.1	3.4	3.7	3.5	3.3
21	3.6	3.3	3.3	3.7	3.5	3.5	3.4	3.1	3.2	3.6	3.4	3.3
22	3.9	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.6	3.6	3.2
23	3.8	3.5	3.4	3.8	3.6	3.6	3.4	3.0	3.4	3.7	3.5	3.2
24	3.6	3.3	3.3	3.8	3.4	3.6	3.6	3.1	3.6	3.7	3.6	3.1

※6 科目が未提出。

【3】コミュニケーション英語(35科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.9	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.3	4.0	4.0	4.0
2	4.0	3.8	3.6	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.6	3.9	3.9	3.9
3	3.9	3.7	3.2	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9
4	4.0	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	4.0	3.9	3.9
5	3.9	3.5	3.6	3.9	3.9	3.8	3.9	3.6	3.8	4.0	4.0	3.9
6	3.9	3.3	3.4	3.9	3.8	3.9	3.9	3.5	3.8	3.8	3.8	3.9
7	3.8	3.5	3.1	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.8
8	3.9	3.6	3.5	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.9	3.8
9	4.0	3.8	3.6	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8
10	3.9	3.7	3.3	3.9	3.7	3.7	3.6	3.5	3.7	3.9	3.8	3.8
11	3.8	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	3.8	3.8	3.8
12	3.8	3.6	3.6	3.9	3.7	3.8	3.7	3.7	3.5	3.7	3.8	3.8
13	3.8	3.7	3.3	3.7	3.8	3.8	3.6	3.7	3.3	3.9	3.9	3.8
14	4.0	3.6	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	3.9	4.0	3.8
15	3.9	3.6	3.4	3.8	3.7	3.7	3.7	3.5	3.5	3.8	3.7	3.7
16	3.9	3.6	3.5	3.9	3.8	3.6	3.4	3.7	3.6	3.9	3.9	3.7
17	3.9	3.7	3.3	3.6	3.5	3.6	3.3	3.4	3.0	3.7	3.8	3.7
18	3.9	3.8	3.3	3.8	3.8	3.6	3.6	3.4	3.1	3.7	3.8	3.6
19	3.9	3.5	3.5	3.5	3.6	3.7	3.7	3.4	3.5	3.7	3.7	3.6
20	3.8	3.5	3.2	3.8	3.9	3.8	3.6	3.5	3.8	3.9	3.9	3.6
21	3.9	3.7	3.3	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5	3.3	3.6	3.6	3.6
22	3.9	3.6	3.4	3.7	3.7	3.5	3.4	3.5	3.2	3.6	3.7	3.6
23	3.9	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5	3.5	3.6	3.2	3.6	3.6	3.6
24	4.0	3.4	2.9	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5
25	3.9	3.6	3.2	3.5	3.6	3.4	3.2	3.2	3.5	3.7	3.8	3.5
26	3.9	3.6	3.3	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5
27	3.9	3.6	3.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.7	3.5
28	3.8	3.3	3.0	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.3	3.8	3.7	3.5
29	3.9	3.6	3.2	3.7	3.4	3.0	3.1	3.0	3.5	3.8	3.7	3.4
30	3.9	3.2	3.0	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.1	3.6	3.6	3.4
31	3.8	3.1	2.1	3.6	3.0	3.5	3.1	3.0	3.5	3.8	3.6	3.4
32	3.9	3.5	3.3	3.7	3.5	3.5	3.4	3.2	3.3	3.6	3.6	3.4
33	3.8	2.9	3.0	3.5	3.6	3.2	3.3	3.0	3.4	3.6	3.6	3.3
34	3.9	3.2	2.8	3.3	3.0	3.0	2.8	3.0	3.0	3.4	3.4	3.1
35	3.8	3.1	3.0	3.0	3.2	3.2	2.9	2.6	3.2	3.8	3.8	3.0

※未提出の科目はない。

【4】初修外国語(30 科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	4.0	3.5	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0
2	3.8	3.5	3.0	3.8	3.7	3.8	3.8	3.5	3.4	3.5	3.8	3.8
3	3.9	3.6	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.9	3.8	3.8
4	3.9	3.7	3.5	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7
5	4.0	3.6	3.2	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.8	3.8	3.7
6	3.8	3.5	3.4	3.7	3.7	3.9	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7
7	3.9	3.8	3.5	3.8	3.7	3.6	3.7	3.5	3.6	3.8	3.8	3.7
8	3.8	3.6	3.4	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	3.7
9	3.9	3.6	3.3	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9	3.8	3.7
10	3.9	3.4	3.0	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.3	3.4	3.6	3.7
11	3.9	3.7	3.1	3.8	3.6	3.7	3.6	3.6	3.4	3.9	3.7	3.7
12	3.9	3.6	3.4	3.6	3.6	3.3	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6
13	3.8	3.5	3.4	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6
14	3.7	3.3	3.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.2	3.7	3.6	3.6
15	3.9	3.2	3.2	3.6	3.3	3.2	3.1	3.3	3.5	3.8	3.8	3.5
16	3.9	3.3	3.3	3.3	3.5	3.3	3.3	3.1	3.4	3.3	3.6	3.5
17	3.9	3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5
18	3.7	3.3	3.2	3.6	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.5	3.6	3.5
19	3.9	3.5	3.2	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.7	3.8	3.5
20	3.9	3.5	3.3	3.6	3.5	3.3	3.3	3.2	3.4	3.6	3.6	3.5
21	3.8	3.5	3.1	3.6	3.4	3.5	3.5	3.3	3.5	3.7	3.6	3.4
22	3.9	3.4	3.0	3.5	3.2	3.4	3.3	3.2	3.5	3.7	3.8	3.4
23	4.0	3.6	3.0	3.6	3.3	3.5	3.6	3.3	3.4	3.7	3.6	3.3
24	3.8	3.3	3.0	3.6	3.2	3.3	3.1	3.2	3.3	3.7	3.7	3.3
25	3.8	3.1	3.0	3.6	3.5	3.4	3.5	3.1	3.3	3.6	3.6	3.3
26	3.9	3.7	3.2	3.5	3.1	3.3	3.3	3.1	3.6	3.8	3.7	3.3
27	3.8	3.2	3.1	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.4	3.5	3.5	3.2
28	3.6	3.2	3.2	3.3	3.3	3.1	3.0	3.1	3.1	3.5	3.5	3.2
29	3.9	3.1	2.7	3.1	2.5	2.7	2.4	2.6	2.7	3.6	3.6	2.8
30	3.7	3.0	2.4	3.0	2.5	2.5	2.5	2.4	2.7	3.6	3.4	2.7

※11 科目が未提出。

【5】保健体育科目(12科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.8	3.9	3.9	3.2	3.8	4.0	3.9
2	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.9
3	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9
4	3.9	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.5	3.9	3.9	3.9
5	3.9	3.7	3.5	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8
6	3.9	3.8	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.8	3.2	3.7	3.7	3.8
7	3.9	3.9	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.3	3.9	3.7	3.8
8	3.8	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.5	3.6	3.3	3.7	3.9	3.8
9	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7
10	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
11	3.9	3.6	2.1	3.7	3.3	3.5	3.4	3.3	3.0	3.7	3.7	3.5
12	3.9	3.4	3.4	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.1	3.2	3.4	3.5

※未提出の科目はない。

【6】主題教養科目(環境と生命)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.5	3.4	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.2	3.8	3.7	3.6
2	3.9	3.6	3.4	3.7	3.5	3.6	3.6	3.5	3.0	3.7	3.7	3.6
3	3.9	3.6	3.4	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.2	3.8	3.7	3.6
4	3.8	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.3	3.6	3.6	3.5
5	3.9	3.3	3.2	3.6	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5	3.5	3.4
6	3.9	3.5	3.4	3.7	3.5	3.6	3.4	3.4	3.3	3.5	3.6	3.4
7	3.9	3.4	3.3	3.8	3.3	3.4	3.4	3.3	3.0	3.6	3.6	3.4
8	3.8	3.3	3.2	3.5	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0	3.1	3.2	3.2

※未提出の科目はない。

【7】主題教養科目（倫理と文化）（10 科目）

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.7	3.8
2	3.9	3.7	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.3	3.4	3.6	3.8
3	3.9	3.4	3.4	3.8	3.6	3.7	3.4	3.5	3.2	3.6	3.6	3.6
4	3.9	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.0	3.4	3.6	3.5
5	3.8	3.3	3.3	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.6	3.6	3.4
6	3.9	3.6	3.3	3.6	3.4	3.5	3.1	3.1	3.2	3.4	3.6	3.4
7	3.9	3.3	3.1	3.5	3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	3.5	3.7	3.3
8	3.7	3.3	3.2	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.4	3.4	3.2
9	3.8	3.3	3.2	3.4	3.1	3.0	3.0	3.0	2.8	3.0	3.3	3.1
10	3.9	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.7	3.8

※1 科目が未提出。

【8】主題教養科目（現代社会の課題）（11 科目）

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.2	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6
2	3.8	3.4	3.3	3.6	3.4	3.5	3.3	3.2	3.0	3.5	3.6	3.4
3	3.9	3.4	3.1	3.6	3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	3.6	3.6	3.3
4	3.7	3.3	3.2	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.0	3.3	3.4	3.3
5	3.9	3.5	3.2	3.7	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.7	3.7	3.2
6	3.8	3.1	3.2	3.5	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	3.5	3.6	3.2
7	3.9	3.6	3.2	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.7	3.7	3.6
8	3.8	3.4	3.3	3.6	3.4	3.5	3.3	3.2	3.0	3.5	3.6	3.4
9	3.9	3.4	3.1	3.6	3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	3.6	3.6	3.3
10	3.7	3.3	3.2	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.0	3.3	3.4	3.3
11	3.9	3.5	3.2	3.7	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.7	3.7	3.2

※5 科目が未提出。

【9】主題教養科目(自然の仕組み)(8科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6
2	3.8	3.4	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.2	3.4	3.7	3.6
3	3.9	3.5	3.3	3.7	3.3	3.6	3.2	3.2	2.8	3.8	3.7	3.5
4	3.9	3.3	3.1	3.7	3.2	3.5	3.1	3.1	2.9	3.1	3.5	3.2
5	3.8	3.1	2.4	3.0	2.1	2.5	2.3	2.4	2.8	3.4	3.3	2.5
6	3.8	3.0	2.6	3.1	2.2	2.3	2.2	2.2	2.7	3.3	3.4	2.4
7	3.8	3.4	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6
8	3.8	3.4	3.3	3.7	3.7	3.7	3.6	3.4	3.2	3.4	3.7	3.6

※2 科目が未提出。

【10】選択教養科目(文化・社会系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9	4.0	3.7	3.5	3.6	3.8	3.9
2	4.0	3.2	3.2	3.7	3.4	3.3	3.5	3.5	3.7	3.8	3.8	3.6
3	3.8	3.1	3.1	3.5	3.1	3.4	3.1	3.2	2.8	3.5	3.7	3.5
4	3.9	3.2	3.0	3.5	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.6	3.6	3.2
5	3.9	3.7	3.6	3.9	3.9	3.9	4.0	3.7	3.5	3.6	3.8	3.9

※1 科目が未提出。

【11】選択教養科目(科学・技術系)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0	3.4	2.8	3.6	4.0
2	3.8	3.7	3.5	3.7	3.5	3.7	3.6	3.5	3.1	3.7	3.7	3.6
3	3.8	3.2	3.2	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.6	3.7	3.5
4	3.9	3.4	3.2	3.7	3.2	3.2	3.2	3.0	3.4	3.8	3.9	3.3
5	3.8	3.1	3.0	3.6	3.2	3.4	3.2	3.2	2.7	3.5	3.5	3.2

※3科目が未提出。

【12】選択教養科目(生命科学系)(2科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.5	3.7	3.3	3.8	3.8	3.7
2	3.9	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.1	3.7	3.7	3.7

※1科目が未提出。

【13】選択教養科目(複合・学際系)(4科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.0	3.9
2	3.8	3.2	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.5	2.7	3.5	3.8
3	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.4	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8
4	3.7	3.3	3.1	3.5	3.4	3.4	3.2	3.3	2.6	3.5	3.5	3.3

※未提出の科目はない。

【14】選択教養科目(キャリア・生涯学習系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	4.0	3.8	3.9	3.9	4.0
2	4.0	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.9
3	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8

※3科目が未提出。

【15】選択教養科目(外国語系)(3科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.8	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.4	3.8	4.0	4.0
2	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0
3	4.0	3.5	3.1	3.7	3.6	3.8	3.1	3.7	3.5	4.0	3.8	3.8

※1科目が未提出。

【16】選択教養科目(日本語・日本事情)(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.6	3.6	4.0	4.0
2	4.0	3.6	3.4	3.8	3.5	3.5	3.4	3.6	3.3	3.8	3.8	3.6
3	4.0	3.7	3.5	3.9	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.8	3.6
4	3.9	3.6	3.5	3.9	3.6	3.7	3.7	3.6	3.4	3.8	3.8	3.6
5	4.0	3.6	3.5	3.7	3.6	3.7	3.6	3.5	3.7	3.6	3.7	3.5

※1科目が未提出。

Ⅲ 全体について

第9章 教員の声(FDレポートの自由記述欄)

FDレポートの自由記述欄に書かれた教員の声をすべて掲載する。

- ・ 参考になる記述が多く含まれている。

【自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。】

(1) 大学入門セミナー(前学期)

- ・本講義では、大学生として円滑な学習を行うために不可欠なノートテイキング、文献収集、レポートの作成などに関する基礎学力の育成・涵養を図った。また、社会・地域調査を通して、その手法や発表に至るスキルを経験するとともに、グループディスカッション・ワークによって集団コミュニケーション能力の向上を図った。以上のような講義内容を通じて、大学生の基礎学力を身につけるために必要な項目を一通り網羅した。今後は、より優れたテキストの選定と利用法、学生の主体性をより発揮できる調査方法の開発、講義全体の構成の再検討などに関する担当教員による意見・反省を活かし、より良い講義の展開に努めたい。
- ・オムニバス形式により講座の全教員が担当。各教員の得意とする分野について、魅力的な授業が展開できたと考える。
- ・学生の学習能力の高さに救われている気がする。
- ・私の考える授業の趣旨から、総花的になった。しかも、回を重ねるうちにシラバスの通りには行かないことに気づき、学生に説明をしながら流れを変えて行った。その結果、実際に行った内容は、カリキュラムの丁寧な説明、教員免許の取り方の丁寧な説明、ゆったりとした自己紹介、図書館職員による図書館利用の説明、気分転換・リラックスの仕方の一つとしての折り紙(これは単なる遊びとしてではなく、友達とのコミュニケーション力・集中力・分析力・驚く心等を養うのではと思う。)、(数学科なので)数学の問題の考察(これは単なる数学の考察ではなく、友達とのコミュニケーション力・友達のアイデアに対する寛容力と称賛する力・集中力・聞き手からの質問の内容に対する分析力・発表力等を養うのではと思う。)を行った。慣れない内容について一回一回一生懸命考えて半年間を終えたが、大変不十分ながら、大学への入門はできたのかなと思う。
- ・受動的に講義を聴くだけのものではなく、学生が主体となって課題の選定、課題解決方法の模索、調査、まとめ、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行うものであったが各担当教員はそれぞれ工夫のもと、上記のテーマに取り組んだ。担当教員がチューターとしてアドバイス、添削、問題点の指摘等を確実にっており、当初の目的はほぼ達成できたといえる。
- ・常に学生が必要とするであろうことをテーマとしていること。

- ・大学入門セミナーのシラバス作成にあたり、新入生が本学において学生生活をスタートするために必要な情報を効率的に入手できるように心掛けた。早期キャリア教育、留学、学内施設見学など積極的に取り上げた。評価は、レポート(課題、調査など)により行った。
- ・二教員による講義であったので、綿密な打ち合わせを行った。学生が自ら表現する力をつけるため最後に試験としてそれぞれに発表をさせることとし、それに向けた準備をさせることで、学生は意欲的に取り組めたと思う。最後の試験(発表)は、全員が相互に評価しながら行った。その結果も学生に返した。これも学生の意欲を高めることができた要因と考えている。また、途中で図書館での研修も組み込み、今後学生が自分で資料収集ができる力もつけるように工夫した。関連して実際にPCを持ち込ませ、その場で資料を調べさせることも行った。
- ・入門セミナーの中で、ディベートを行ったが、ほとんどの受講生たちは高校までの間に授業等でディベートの機会を経験していた。事前に把握できていれば、もう少し難易度の高いテーマ設定やルールで行うことができたはずなので、オムニバスであるため難しいところもあるが、今後は事前に学生たちの理解度やレベルを確認した上で授業内容を構成していきたい。
- ・評価できる点は、野外活動を取り入れたことによって、講義内容と実際の現場の両方をみれたことである。また、ひとりひとりに短時間でのプレゼンテーションを行なったことも、人前で話す練習や事前準備の大切さを学ぶ良い機会になったと思われる。反省すべき点は、オムニバス形式ではあるが、内容が重複するなどの面も見られたため、事前に内容について講義者全員の意見のすり合わせをする必要があるかもしれない。
- ・模型作りやディベートを通してグループディスカッションによって、論理性の構築と自分の意見の主張および他人の意見の理解について体験学習させた。ただし、ディベートを行わせたのは初めての経験であり、改善点は多々あると思われる。
- ・理科教育を選んだ学生を対象としているので、野外でのフィールドワークや博物館見学、現場の教員による講義、図書館ガイダンスなど、これからの学習に有益な内容を授業に取り込むことができた。
- ・反省すべき点: 学生の提出するレポートについて、書き方、まとめ方などを指導する機会を多く設ける必要があると考えている。
- ・組織的・継続的なFDでないといけないと思う。そこで、種々の講演会を拝聴するよりも、JABEEは外部評価委員による定期的なチェックがある最上の組織的・継続的なFD活動であると思う。
- ・複数での教員の担当科目であるため、教員間での十分な授業計画を立てる必要がある。

(2) 情報科学入門(前学期)

- ・直前に時間割を変更したために、大きな教室が取れず、狭い部屋での講義(実習)になってしまった。学生も窮屈な感じであったし、TAや教員の移動も難しく、個別なこまめな指導がいきとどかない点があった。黒板やプロジェクターでの説明を行ったが、説明を聞いていない学生が目立ち、今後重要なものは配布したいと思った。
- ・(評価できる点)PCの操作で、学生が今必要なこと、もしくは近い将来必要になることに焦点を絞って授業を行った。具体的には、情報倫理・Wordの使い方・Excelの使い方・Power Pointの使い方につ

いて実践的に学生に作業をさせる形で授業した。(反省すべき点)第1回目の授業では、学生が持ち込んだ PC の動作確認(無線 LAN に接続できるかどうかなど)を行っているが、授業担当者は PC の専門家ではないために PC の不調に対してキメの細かい対処ができない。

- PC の必携化にともなう、持ち込み PC による講義運営は徐々に軌道に乗り始め、当初よりはトラブルの回数が減少した。今年は、工学部のキャリア支援システムの設定作業の依頼があった。それ自身は大した作業ではないが、やはりクラス全体でのこととなると、必ず、トラブルにあう学生が現れ、結果として講義の進捗を遅らせてします。PC やネットワーク関係のことを何でも情報科学入門に押し付けるのは一考願いたい。
- 応用生物科学科の情報科学入門の講義は、6 名の体制で実施した。基本的には、2 年生のクラス担任が中心となり、1 年生のクラス担任がサポートする体制をとっている。そのため、学年進行に伴って、2 年生のクラス担任が昨年の経験を基に講義をすることが可能となる。また、実習に相当する部分が多いため、複数で対応することで個別に行き届いた指導が可能となった。
- 改組に伴い、内容を Linux 入門から Windows 上の Office アプリケーション使用法に全面的に改めた最初の年であり、多少の試行錯誤はあったものの、何とかシラバス通り進めることができた。情報系学科ということで、単純な利用法のみでなく、例えば Excel のピボットテーブル機能を使ったデータ処理、Word の相互参照機能を利用したレポート作成法など、実際に勉学や将来の仕事で役立つような内容を重点的に教授した。また、インターネット利用に関わる規程や法律なども少し扱ったが、ここはもう少し教材を工夫するなど、分かり易さを向上させ、自分にも関連する事項として実感させる必要を感じた。
- 学生の質が低下してきており、意欲のない学生への対応が難しくなっている。
- 基本的に、あまり丁寧に説明するのではなく自ら調べることを課している。ただ、指示が曖昧であるときが時折あり、学生に意図が伝わらないことがあった。学生への指示の出し方について今後検討していきたい。
- 共通教育なので平易な内容を目指したが、平易すぎて一部の学生には物足りなかったのではないかと反省はある。だからといって難易度をあげると多くの学生にとっては難しすぎる、ということになってしまうのだが。
- PC 取扱に関して個別対応できるように 2-4 名の教員と 2 名の TA を配置した講義を実践した。

(3) 英語(前学期)

- 2 年次用の必修科目だが、このクラスは「再履習」特化クラスとして、前半は入試問題の中から基礎的な英文読解力をチェック出来るような試験問題形式のプリント教材の学習を行ない、後半はややそれよりも程度の高い大学論・教養論に関するエッセイを読んだ。授業は再履習生対象ということだったので、徒に難解なものは避けるべきだとも思いつつ、しかし、1 年次の 4 単位分の英語学習を承けた 2 年次の科目なので、もう少し読めて欲しかったが、結果は実に学生達の英語力の不足が目立った半期だった。遅刻者・欠席者も思いの外多く、意欲の点でも反省すべき点が多かった。再履習クラスの運営の難しさを改めて感じた。
- I will write a more detailed official syllabus. I will make all evaluation criteria completely clear to

students in advance. I will be more careful about organizing lessons when classes are mixed from two different previous classes of mine.

- ・ミヒヤエル・エンデの『モモ』の英訳本をテキストに採用したことは、学生に知的興味・関心を刺激することができて、大変よかったとおもう。英語の精読と併せて、授業外では1冊を読み切るという目標を立てて自主学習を促したこともよかった。また、選んだ箇所の英文暗唱や、感想の発表も読解への動機づけとなったとおもう。反省すべき点は、学生がテキストをすべて読み切れたかどうかまでは、教師に把握できなかったことだ。しかし、学生の自主性を最大限に利用した取り組みではあったとおもう。なお、担当教員の入院・療養のために、代理教員による授業と2度の休講があり、それはレポートで補ったが、学生には申し訳なかったとおもう。
- ・単位の実質化を実現している。厳密な成績評価を行っている。
- ・適切に事前事後の学習を課している。
- ・目標達成できたか否かは期末試験のスコアを見るまでわからないが、語彙習熟度からすると、力を伸ばせたと思います。しかし、満足していない学生からの意見を真摯に受け止め、後学期に改善していきます。あれもこれもと、多くのことを教えようとして、学生は的を掴めず、消化不良になっていたかも知れません。大きな反省点です。

(4) 英語(後学期)

- ・全員の満足を得ることは難しいが、「英語の重要性がわかった」「TOEIC を受ける気持ちが高まった」などの感想が聞かれたことは大きな成果だと思います。非常勤講師として学外で得られる一般社会人からの情報を学生に提供し将来につなげるための英語学習であることを伝えられたのではないかと考えています。
- ・単位の実質化を実現している。厳密な成績評価を行っている。
- ・適切に事前事後の学習を課している。
- ・評価できる点として、ミヒヤエル・エンデの『モモ』の英訳をテキストとしたことは、大変よかったとおもう。当初は子供むけの児童書と高をくくっているようにおもわれる学生もいたようだったが、授業が終わるころには、この物語が如何に大切なメッセージを含んでいるかが全員に分かってもらえたことが期末レポートからもわかった。授業では精読をしたが、同時に各自スピードを出して最後まで読むことを約束して授業を始めた。全員というわけではなかったかもしれないが、多くの学生が自主的に最後まで物語を読んできたように思う。好きな場面の暗誦と感想の発表も授業で行ったので、授業にメリハリがついたように思う。反省点は、最後まで読めた人とそうでない人を区別する手段がないことで、これは、今後考えてゆきたい。

(5) コミュニケーション英語(前学期)

- ・I enjoyed teaching this class very much, and also meeting the students each week.
- ・I will write a more detailed official syllabus. I will make all evaluation criteria completely clear to students in advance.
- ・映画「ローマの休日」を自ら教材として開発して使用したことが今学期の収穫である。学生は、映画の

内容に興味を持ったらしく、出席率は高かった。もうひとつのテキスト『挑戦する英語』も内容が適切で、学生の評判もよかった。反省すべき点は、「ローマの休日」の理解度チェックのワークシートの準備はできたが、今後模範解答についていくつかのバリエーションを用意したいと考えている。反省すべき点は、担当教員の病氣療養のために、他の教員による代理授業と休講があった。やむを得ないことではあったが、学生には申し訳なかったとおもう。

- ・学生の興味を引くような内容の英文記事を選んだのがよかった。
- ・小テストをできるだけ実施し、理解度の把握につとめた。一人一回のスピーチ発表はできたが、全体的に学生が英語を使う時間を増やす必要がある。
- ・先学期(平成 23 年後期)に比べると、学生の関心を引きつけられたように感じた。今学期は、今、注目されている時事的な話題への言及が少なかった。「今」の問題に関心を向けてもらえるよう、教材と「今」の話題をもっと関連させたり、結びつけたりするように努力したい。
- ・比較的英語を苦手としている学生の授業理解を考慮して、授業を実施したため、僅かながらシラバスに示した進度が確保できなかったことが反省される。
- ・文法事項に基づき、文をチャンクに切りながら左から右へと英語の試行の流れに従って英文を読んで行くことによって、訳読に頼らない英文理解を目指すというテキストの趣旨と教授者の意図は間違っていたはいなかったが、教材の英文レベルが工学部 1 年生にはやや高過ぎて、思うような読解能力の強化にまでは繋がれなかった、という恨みを残す形となった。
- ・様々な英語運用能力の学生が混在している状況に充分には対応できなかった。学習の進んでいる学生にとっては少し進度が遅いなどシラバス通りに進めなかったことで不満が残ったのではないかと心配である。

(6)コミュニケーション英語(後学期)

- ・6[話し方など]・7[分かりやすさ]・8[学習意欲の喚起]は教師の独りよがりになりがちな点なので、学生からの意見を慎重に聞きたいと思います。なるべく学生自身に活動させるという方針を貫くことはできたと思います。ただ、学生達が積極的に活動したくなるようなトピックスを提供できたかどうかはクエスチョンマークです。
- ・There are too many students in each class. It is difficult to change textbooks every semester.
- ・There are too many students in the class. It is difficult to change textbooks every semester. I would like to see what other university teachers are doing in their classes.
- ・学生の質・やる気があったのに、十分に引き出すことが出来なかった。
- ・学生個々の基礎的英語知識にかなりの開きがあり、英語が苦手である学生には丁寧さを欠いた部分があったのではないかと反省される。学力差が顕著である学生を対象に35人のクラスサイズで、どのような工夫ができるのか今後の課題である。すべてのレッスンにおいて、音読を課して基本的な語彙、英語の発音、イントネーションをつかませるように努力したが、やはり苦手意識のある学生のモチベーションを上げるにはいたらなかったように思われる。
- ・今学期は学生達ののりが良く、全体的に活発で楽しい授業ができたように感じました。ありがたかったです。ただ、学生さん達のライティングを見ると、基礎文法事項が身につけていないと感じる学生

が散見され、基礎力 up を計る必要性を感じた学期でした。コミュニティな授業をしつつ、文法等の基礎力 up を図る方策を考えたいと思います。

- ・今学期は骨折の為、休講が多く、また歩行困難の為に板書も十分に出来ず、満足のいく授業が出来なかった。ただ、自分なりに頑張って出来るだけ責任を果たすよう努力をした。
- ・出版社のサーバーに学生を行かせて、毎回学習後のレッスンについて、次回の授業冒頭で課す小テストの為にサーバー上での練習を義務化した。これに熱心に取り組んだ学生もいたが、かなりの学生はテストがあっても必要な準備学習を行なわない、ということが分かり極めて残念であった。取り組んだ時間や練習時の獲得点数も最終評価に繰り入れる、と宣言してあったにも拘わらず、学生の意欲を喚起できなかった。どこに問題があるのか分析が必要かと思われるが、毎回の小テストの採点を通じて思うことは、一方で学生達(工学部)の英語力の低さに対して彼等自身の認識が極めて低いということで、他の科目も含めた大学での英語学習が総合的に捉えられていないため、基礎力の底上げがなされないまま1年次が終了してしまう。茫然自失気味である・・・。
- ・発信型の授業であることを踏まえ、ペアワークなど学生自身がペアやグループで英語コミュニケーション活動を行うよう心がけた。しかし、学生間の学力差が大きく、このような授業内活動に割いた時間に応じた教育的効果が必ずしも十分に得られなかったように思われる。
- ・本授業では、『感動する英語』というスピーチのテキストと『ローマの休日』の映画シナリオのテキストを使ったが、いずれのテキストも学生の興味をひくものだったらしく、好評であった。反省点として、『ローマの休日』は13回に分けて視聴し、内容理解のための英語による質問に英語で答えるよう指示したが、これはかなり難易度が高く、また答えがいくつもありうることから、答え合わせがうまくいかなかった。そこで、最後の数回の授業では、いつもより時間を多く取り、また近くの人とお互いの答えを言い合うペアワークをさせることで発話の機会を設けた。今後、もっと英語による発話の機会を増やすなど、工夫したいとおもう。

(7) 初修外国語(後学期)

- ・このクラスには、支援を必要とする学生が1名と、気にかけておくべき学生が1名在籍しており、少し気を使う授業であった。ただ、TAを付けていただいたので、非常に助かった。上述した学生たちは、マイペースであったり、時間などのプレッシャーに比較的弱いようであったりしたが、支援を必要とする学生の方は、本人が中国語を進んで学習していたこともあり、結果的には授業にもスムーズに適応できていたように感じる。音読の際には、間違った発音であっても大きな声で読むので、他の学生たちが間違いに引きずられる傾向もみられたが、その点は、教員も小さな声ではあるが一緒に読んでサポートすることで、なんとかクリアできたと考えている。もう一名の学生の方がかなり気を使った。集中力にムラが見られ、集中力が切れた時には、ポカーンとした様子であった。そうして、授業後は教科書の訳などを質問に来る、ということで、他の学生と質問が重なった場合には、やや支障をきたすようなこともあった。また、少し複雑な範囲や手順を理解するのが不得手なようで、指示や説明を書いた紙も渡したが、どうにも理解してもらえない部分があったようである。とはいえ、こうした学生は今後が増えるであろうから、今回は教員としてもいい勉強の機会を得た、と考えている。今年度の経験は今後に生かしたい。

- ・前期は、台湾からの留学生にクラスに入ってもらい、文化紹介などをお願いした。中国・台湾の文化についても、中国語を通して学ぶことができたと考えている。学生にとっては、留学生との交流もできて、楽しそうであった。
- ・まず西洋語の基本としての英語の考え方をしっかりさせることからしか仏語の授業が始められない。絶えざるフランス語表現への促しを実践しているのだが、なかなか学生諸君は同調してくれない。しかし、他にスキルを身につけさせる方法はない。
- ・今の学生諸君にドンキホーテ的正論はなかなか通じない。スキル獲得のために日々何をしなければいけないかを絶えず言い続けている。
- ・今年度は授業の進度がかなり遅くなってしまった。次年度は、省略すべき項目を考えて進度をすすめたい。
- ・資料提示装置を用い、教科書を前に映し出すことで、学生が下を向いたままで無く、顔を上げて発音練習に取り組めるように工夫した。また、テキスト本文の暗唱に力を入れて、授業中実際に学生が何も見ずに会話を練習する機会を多く作った。夏休みの宿題として唐詩の暗唱をさせ、学部単位で全員に発表させ、相互評価させた。
- ・発音は難しいですが、このコツを教えながら、繰り返して練習させていたことで学生の発音・会話は良くなりました。

(8)保健体育科目(前学期)

- ・あまりに環境が悪くなり、急きょ、熱中症対策として、受講生に提案・了解を得て、プールでの活動を取り入れた。結果、受講生には好評であった。次年度のシラバスに反映させたい。

(9)保健体育科目(後学期)

- ・前期(スポーツ科学Ⅰ)から継続受講の学生と、後期から受講する学生が混在しているため、個々のねらいを明確にして受講できるような工夫を行った。その結果、はじめは仕方なく種目選択をした学生も、途中から意欲的に変化し、主体的に活動に取り組むようになった。

(10)環境と生命(前学期)

- ・オムニバス形式の講義に毎年責任者が回答する形式では講義全体にこのシステムが反映されないと思われる。例年 15 名の担当者からランダムに回答者を選ぶべきではないか？

(11)環境と生命(後学期)

- ・講義はすべてスライドを用いて行ったが、スクリーンが前方にひとつしかなく後方に着席した学生の多くは文字等がよく見えなかった。実際に文字が見えにくいとの感想も幾つかあった。講義内容をプリント資料として事前配布するなどの配慮が必要であったと反省している。
- ・スライドは写真を多くし、学生の興味を引く授業ができたと思う。

(12)倫理と文化(前学期)

- ・次年度は、子どもからおとなへの途上にある学生に対して、メッセージ性を深める為に、学外ゲストティーチャーを活用した講義の構成を工夫したい。
- ・出席と授業のポイントを理解しているかどうかを確認する「受講票」を作成し、そこに書かれた質問については、次の科の授業の冒頭で口頭により回答し、また意見・感想についても可能な限り紹介している。しかし、授業が進むにつれて数が増加するので、特に紹介方法に工夫が必要だと感じている。また、パワーポイントを一部導入してみたが、効率的に授業を進められる反面、受講生がより受動的になるように思われた。
- ・毎年やっていることだが、授業の総まとめとして見せている竹取物語の映画は、今年も大変評判が良かった。映像で見ると授業内容も、かなり印象に残ったようだ。

(13)倫理と文化(後学期)

- ・今期は視聴覚用資料を全面的に作成し直した他、授業時間の冒頭に前時の復習の時間を設けた。受講票を利用した内容理解度の把握や質疑応答は継続して行っている。内容の最後にあたる20世紀美術への関心が高かったが、時間的に十分な展開ができなかったのも、單元ごとの時間配分を見直したい。
- ・もう少し学生との対話方式の授業がしたかった。
- ・受講生には、毎回A4、1頁くらいのワークシート記入を課している。この講義では、記述内容が充実していたように思われる。理由の一つは、これまでに比べて読みやすい教科書を用いたことにあるだろう。また、一回の講義に盛り込む内容を大きく減らしたことも、影響したのかもしれない。ともあれ、積極的な受講態度の表れではある。
- ・授業で扱う内容をストレートに伝えるのではなく、受講学生の専門分野を考慮して、視点を変えて注目させるようにしたことは評価できると考える。

(14)現代社会の課題(前学期)

- ・前学期は、工学部・医学部の学生を対象とする講義であった。本年度最大に力を入れたのは、(1)将来、企業の中で開発・設計等々を担当した場合に、例えば軽量化、高剛性化、小型化、高機能化といった目標が、同時に経済的要請によって生み出されること、(2)将来、医療機関の中での研究開発、医療機器等の高度化や予防医学化などの現象が、経済的要請によって推進されること、(3)そうした多様な事例を通じて、自らの専門性を、現場の経済を含む総合的判断の中で活かしていくという「視点」を獲得させることにあつた。これを行うには、普段からそうした事例として取り上げるのに適切な素材を探す姿勢が必要であった。また、(4)経済現象はその事例に応じて何時生み出されたのかという歴史的起源を示しつつ、現代を見る眼を養うように努めた。
- ・学生の学力差に対応した講義は難しい(英語を使う場合等) 予備校の授業や「チャート式」のわかりやすい授業がよいとは思えないがこの方式が求められているように思う。
- ・教育文化・農・医の3学部の受講生に対する講義であったので、それぞれの学部になんらかの関連のあるテーマを考え、教育社会学の中でも子どもの「発達と環境」に関わる内容を中心に講義した。

自分自身が育ってきた過程に家族や仲間、学校といった環境がどのように影響していたのかを具体的な事例を豊富に取り混ぜながら授業を展開した。反省点としては、大学の講義形式に慣れていない学生たちにとっては、(穴埋め等ではない)完成されたレジュメでの授業は、高校までの授業と違い手を動かすことが少なく戸惑いを感じたようなので、初回の授業等でメモをとる必要性(レジュメに書かれていることだけでは後で見てもわからない可能性があること)を強調しておかなければならないと感じた。

- ・工学部の学生の興味関心がいまいちわからず、授業を進行させるのに苦労している。
- ・最新のニュースやトピックス、理論、統計などを取り入れた講義を通じて、学生の興味・関心を喚起し、理解を深めることに努めた。今後は、より分かりやすく、学生の知的好奇心を高めるような講義づくりを目指して、講義内容・方法などについて、FD 講演会なども通じて研鑽していきたい。
- ・進度の調整に苦しんでいる。今年度で退職だが、後期に向けて、前半部分の位置づけを明確化し、内容の精選を行いたい。そのことを通じて、後半部分をもっと丁寧に説明する時間を確保したい。
- ・毎回出席カードに感想や質問を書かせ、出された質問には可能な限りこたえるようにして、学生とコミュニケーションをとりながら授業を進めた。
- ・今後、積極的にFD 活動に取り組みたい。

(15) 自然の仕組み(前学期)

- ・(評価できる点)150名の学生が受講している講義であるにもかかわらず、毎回演習の時間を設けて学生に取り組みせ、解答済みの演習は添削して、次時の講義で返却した。(反省すべき点)数学の素養に大きなばらつきのある学生を相手に講義を行っているので、内容が高校数学の復習に偏りがちである。そのため、数学の得意な学生は演習問題をさっさと解き終えて、次の授業の予習に専念してしまうようだ。シラバスに「この授業を受ける際に必要な素養は何か」を強調するなどして、受講学生の粒をそろえる方策が必要である。
- ・概ねシラバス通りに実施できたが、今年度、授業内容を変更して実施した最初であったため、例えば、一次独立性の幾何学的な意味について説明を増やすなど、取り扱う内容について改善の余地はあると思われる。
- ・今年度は内容そのものと教科書を3科目同時に一新したため、補助教材(プリント)の作成が自転車操業状態になり、時々授業に間に合わないことがあった。ましてや、補助教材の内容の適否まで検討する余裕はなく、「試しに配布してみた」としか言えない状況であった。来年度は今年度の内容と教科書を踏襲する予定なので、補助教材の不足分作成および内容改善をする必要がある。今期一新した内容そのものは良かったと思われるが、個々の題材に関しては、当初予定していた題材の3割は(受講生の基礎学力レベルを考慮すると)授業に盛り込むのが無茶なため、取り止めた。来年度のシラバス作成にあたって、題材の取捨選択を検討すべし!
- ・アンケートを独自に集計した結果、B4(シラバスに沿った)3.53、B5(学生の理解度を踏まえた)3.51、D12(まんぞくできた)3.7、A3(達成目標に到達した)3.12 であった。本年度から工学部の入試が(数学 or 理科)に変わって、物理を履修していない学生が増えたように感じられる(中学の理科のレベルからのスタートになる)ため、毎週月曜日の1コマめに授業、4コマめに補習授業を行った。未履修

の学生の理解度向上も図ることができたと考えられる。また、「流体抵抗、無回転サッカーボールの軌道変化」、「月と地球の関係」などのビデオ教材を併用することによって、学生の興味を引くように工夫した結果、B8(知的好奇心を満足させる)は3.42であった。

- ・科目名は従来と同じだが、工学部の改組に伴って今年度より新しい学科編成、新しい入試方法であったため、授業の教材、内容、担当者を一新して行った。クラスを構成する学生の高校での履修履歴、学力の差が広がり、学生の学力、気分、反応を把握するのにいささか苦労した。今年度の経験を踏まえ、次年度の授業を組み立て直したい。
- ・数年ぶりに物理科学Aを教えることになった。以前に比べ、学生のレベルがかなり変化しており、内容が高度すぎた。次年度以降、この科目を担当するかどうかはわからないが、担当する場合には、教育内容の修正が必要である。
- ・板書筆記が遅い学生に配慮してパワーポイントによる講義を行ったら、重要ポイントのマーク付けや、板書を使って別途解説した事などを全くノートに取らず、筆記具を持たずにひたすらスクリーンを眺めているだけの学生が多かった。来年は資料の配布方法を変更したい。
- ・物理の授業に先立ち、高校までの履修履歴が分からなかったなので、その調査を行った。その結果物理履修者は2/3程度と分かった。授業内容はあらかじめ問題形式のプリントを配布し、学生に解かせて、授業内容の理解を深める工夫を行った。問題形式のプリントを用いて、1度だけ工学部所有のクリッカーを用いて講義を行った。準備等が大変だったが、学生はお互いの理解度がわかり、参考になったと思う。クリッカーは興味を引かせるのに2、3問導入に使いたいのが、そのためのパソコンの準備等に5分ぐらいかかり、時間的な問題で毎回は使いづらい。講義室のマイクの調子が悪く、後半5回ぐらいしか使えなかった。そのため前半は講義の流れが悪くなった。
- ・物理科学 T(2)、T(7)とは異なり、物理志向の学生が多く存在するクラスであるため、反応も比較的良く、教員としては授業を比較的進めやすかった。学生の質が変わらないならば、次年度からはもう少し発展的内容を入れる必要があるかと考える。

(16)自然の仕組み(後学期)

- ・2009年から4年間、他学部生に15コマの本格講義が出来、楽しかったです。
- ・授業資料の作成は3段階で取り組んだ。1. 講義資料の作成 分野的に写真、図画等の多用が求められ、板書による内容説明が困難であることから、一貫して、パワーポイントを用いた。2. レポート問題の提示 3. レポート問題の解答例の提示 やや難問と思われる問題について解説を加えた。
- ・中学生でもやればできる易しい内容ではあるが、内容を理解し練習しなければ分からない・できない内容であるので、いろいろなレベルの学生が受講できる。しかも、新しいこと(例えば3進法の加・減・乗・除の筆算)を学ぶときに、良く知っている内容(例えば10進法の加・減・乗・除の筆算)を反省する必要があり、過去辿って来た道を再確認できる。また、新しく学んだ内容も面白い内容であるようにと心掛け、話している。しかし、受講生のレベルの差はやはり大きく、中ほど位に合わせて講義を行っているので、できる学生にとってはつまらないかも知れない。また、丁寧にしすぎることにより、今年は2番目に用意していた内容までには到達しなかった。

(17) 選択教養科目(前学期)

- ・選択中国語、という科目は、レベルも動機も多様な学生がいて、全員を満足させることが非常に困難な科目である。特に、農学部と他学部とで、1年次の授業時間数が大きく異なる(農学部だけは週1回)ので、こうした学生たち(それも、今年度は30名以上)を同じクラスで指導することは、本当は適切ではない。しかし、現実には別クラスは存在しないので、なるべく、どちらの学生にもそれなりに得るところがあるように工夫したつもりである。(しかし、よくできる学生の方に特に、授業が簡単だという強い不満が残りがちである。)これについては、今後も方策を模索しつつ努力したい。評価できる点としては、まず、中国語検定試験の問題を、CDの貸借も含めて行い、自宅でも勉強できるようにしたことである。他には、初級の教科書を1冊終えたあと、授業の予備日を使って、教科書では不十分な箇所を、テスト範囲とは関係なく講義したことである。農学部の学生が未習だった箇所についても、いくらか説明できたと感じている。受講生の前期の成績なども参考に、後期に開講されるⅡをより効果的なものにしたいと考えている。
- ・予習レポートを提出させ、その内容を授業で解説するが、学生は興味を持って取り組んでいるようには思えない。
- ・I will write a more detailed official syllabus. I will make all evaluation criteria completely clear to students in advance.
- ・フィールド体験講座は開講から10年が経過したが、フィールドセンター併任教員と専任教職員の複数教員による講義とフィールド体験をセットで行うスタイルは一貫している。この授業は2コマを使うのに2単位しか得られないが、それでもフィールド体験で得られるものは大きいと授業評価に書いてくれる学生は多い。現在はフィールドセンターや農学部のバックアップによって運営されているが、今後退職する教員の実施内容をどのようにケアして行くのかは大きな課題である。また、今年は豪雨のために10年間で初めて田植えが中止になり講義だけになったり(6/12)、休講(6/19)となりその後の内容を順延した。このように悪天候対策についてより強力な対策をとる必要がある。
- ・綾町のまちづくりでは最近のユネスコエコパークの認定の紹介や有機農業の紹介時に野菜の試食を入れ込み好評だった。
- ・医学部学生に対して本講義[医学実験動物学]を共通教育に当てはめるのは問題があると思います。以前からお願いしているのですが専門講義として割り振っていただけませんか。学部学生に対して機械的に共通教育を何コマ以上課す必要があるから、内容に関係なく共通教育に割り当てられている事は明白で、全く本質とは関係ない理由で講義を割り振る執行部の姿勢に疑問を抱かずには居れません。実質を重んじ広い視点で講義計画を立てるべきだと強く思います。
- ・学生の自主性、積極性を尊重し、主体的に参加できる授業を心がけている。ただし、100名を超える受講者数で、授業への積極的な参加の度合いには差が見られ、この点は、本授業の評価できる点であると同時に、反省すべき点であるともいえるであろう。
- ・学生授業評価では毎年一切説明抜きでアンケートをとることにしているが、当然いくらか理屈にあわない感想も寄せられる。今年は前もって受講学生のメーリングリストを作成し、感想に回答するようにした。
- ・学部に関係なく、興味深く思ってもらえる講義内容とすることができたと思う。さらに、畜産物から派生

した欧米の文化や考え方の違いを理解する一助にもなるものと思われる。

- ・具体的な事例をもっと出すべき。
- ・昨年から最終レポートから試験に変更を行ったことが影響しているのか、受講者の特性がかなり変わってきた印象を受ける。課題に対しても、積極的な姿勢が見られ、出席状況も良い。この点を活かして、もう少し内容の精選を進めていきたい。
- ・受講者の理解度を確認しながらではあるが、レベルをある程度維持した授業を行うことができた。また、授業準備にも時間をかけて充実した授業内容になるように努めた。
- ・小テストで授業への要望を聞く。楽をして単位だけ取りたいという関心に基づいたものには応えず、授業の目的や意図を詳しく説明する。授業の進め方に関するコミュニケーションによって、学生は納得して課題に取り組めるようになる。学生の思考力を伸ばす上で、シラバスに沿った授業、学生の理解力を配慮した授業、要点が明確な授業というものを目指していない。
- ・生命科学に馴染みのある医学部や農学部の学生のみならず、馴染みの薄い工学部の学生も受講しているため、授業内容のレベルの設定に難しさを感じる。これはどの全学共通科目にも当てはまることだと思うが、毎年苦慮しつつもなかなか思うようにいかないもどかしさを感じている。また、毎回次回のキーワードを提示して予習を呼びかけているが、実際に予習をしてくる学生は希である。選択科目であることから予習を強制することの是非についても迷うところである。
- ・複数の種目の同時開講を可能にしているイン・リーダーの働きがあって成立している。イン・リーダーを引き受けてくれる保健体育科の学生に感謝している。場が少ないことから、前半・後半で種目を移ることを許可したが、その結果、出欠が煩雑になった。前半と後半で出席簿を2つ用意するようになりたい。例年になく受講生が増えたが、教員免許状に必要な1単位であるならば、前期と後期に分かれて受講してもらいたい。
- ・3・4年生の受講が多い。共通科目としてのあり方を今後検討したい。学外の活動が、教員を目指す学生のニーズに合っているため、教育文化学部の3・4年生の受講が多くなる。
- ・本開講科目は、時代のニーズと連携した講義科目であるため、授業内容を毎年変更しないと行けない点であるため、十分に対応できているのか教員相互間でチェックが必要だと思う。

(18) 選択教養科目(後学期)

- ・この授業がシラバスに沿った形で行われていないのは、受講学生のレベルに合わせた少人数教育を行ったからである。決して不適切な方向ではない。今回は受講生が5名で、レベルも様々であった。基本的にはまん中のレベルの学生に合わせ、理解度を全員に確認しながら進めていった。午後の時間ではあったが、学生の名前を呼びかけて質問がないかなどを尋ねていったので、眠気も覚めたことと思う。少人数で細かくケアできた半面、刺激がやや少なく、この点ではさびしさもあったと思われる。
- ・これまでと同じように講義の中に出来るだけ教師実験を取り入れて学生の興味関心を喚起するように努めた。今年度より後期の開講となったため、受講生が約30名に減少したので、次年度より学生自身に実験をさせることを考えたい。
- ・もう少し学生との対話方式の授業がしたかった。

- ・各学部から学年を限らずに受講可能な授業のため、全員の出席を保障できるような補講の設定が難しい(例えば、今回の爆弾騒動のような場合)。補講の代わりに自習を課し、後日報告してもらった。それに対し、受講生からの苦情もなく、逆に運動を日常化する意識につなげることができた。
- ・学生の満足度は高かったと思っています。(レポートより) 今後、フィールドワーク等も含めた多面的授業を展開したいと思っています。外国からの訪問者との授業時間外での交流、討論を目論んでいます。
- ・学生の要望に最大限そうように調整し、満足がいくような内容にできた。
- ・鹿儿岛国際大学の学生3名を招いてビブリオバトルを実施。学生の感想からは、読書への関心の喚起、コミュニケーション能力への関心の喚起には成功したように思われる。全学の授業評価とは別に学生によるナラティブな授業評価を実施。学生が大学制度への理解を深めた点、残りの学生生活の過ごし方を主体的に考えはじめた点を確認した。
- ・受講生が少なかったのが残念だった。県中小企業家同友会と連携して経営者10人のお話を何う形式を取り入れたが、あまりにも登録者が少なかった。残念です。事前にもう少し PR したいと思います。
- ・集中講義であるが、掲示を見てなくてオリエンテーションを受けられない学生への対応が課題である。
- ・初めて担当する「発展科目」で事前にシラバスを作ることも出来ず、毎回探り探りの講義でしたが、学生は満足できたと思います。
- ・複数教員で指導し、各教員の説明の仕方や資料の内容について確認している。

(19)日本語・日本事情(前学期)

- ・留学生に、各々が興味や関心を持つテーマについて、パワーポイントスライドを用いて発表させた。日本語でパワーポイントを作り、それを用いて発表することにより、書記言語、口頭言語をバランスよく発達させることができたと考えている。テーマを留学生に任せたので、サブカルチャーに関連するものも多かったが、その際には教師が、比較文化的視点で捉え直すよう助言を与えるようにし、単なる趣味の紹介に終わらないようにした。
- ・日本語上級の授業として、日本語力の高い交換留学生を中心に、日本語の微妙な使い分け等のハイレベルな内容を、個別対応により丁寧に指導できた。授業後の学生の振り返り文にも、この点が学べたとの意見が書かれていた。
- ・学習ノート作りを通じ自律的学習を促すという授業構成で、学生にも好評であり、毎回、安定した雰囲気と達成度を保って授業をおこなうことができた。この授業により、留学生が日本での生活全体を日本語学習環境ととらえ、みずから学ぶ姿勢が育成できたと考えている。
- ・一見、流暢に会話ができる留学生であっても、新聞記事を読ませると、漢字の読みを中心に、日本語力の不足が表面化してくる。この授業では、実際の記事に即し、学生がつまづいている点を丁寧に拾っていくことができた。また、新聞記事について、毎回、全員に意見発表の時間を設けたので、読解力だけでなく、表現力も養うことができた。課題として、新聞記事の要約と意見を書くことを課したので、書く力を育成することもできたと考えている。

- ・茶道入門ということで、留学生一人ひとりに、裏千家の「盆略点前」の割り稽古と点てるまでの一連の演習、お茶とお菓子のいただき方を手ほどきすることによって、日本文化の一端を伝えることができた。また、折に触れて、参加している留学生の出身国の文化をレポートさせることによって、各国の文化や生活習慣などを、互いに意見交換する機会ももてた。人数が本年度は多かったのもう少し少人数であれば、さらに日本の茶文化に触れさせることができたと思われる。

(20) 日本語・日本事情(後学期)

- ・もう少し学生との対話方式の授業がしたかった。
- ・学生にプレゼンテーションのトピックを選ばせることにより、学習意欲や知的好奇心を引き出すようつとめた。
- ・学生の自立学習を促すことを目標とする授業であるが、その点が達成できた。
- ・新聞記事という生教材を利用するので、学習ポイントを示すのが難しいものがあった。
- ・他大学の学生とのコミュニケーションを組み入れ、学習意欲を喚起した。

【「地域を教材とした共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。】

(1) 大学入門セミナー(前学期)

- ・宮崎の歴史・文化、政治・経済・産業、自然などに関する地域調査を通じて、学生自身が宮崎の魅力を感じることができた。また、発表を通じて、抱える問題点も含めて、宮崎の特徴を全体で共有することができた。
- ・宮崎県水産試験場の小林分場に行き、現地の職員からの説明および実際の養殖現場を観察することで、宮崎県の水産養殖の歴史や現状、さらに今後の問題点や課題などについて詳しく勉強することができた。
- ・大学周辺地域の散歩コースマップ造りを課題としたグループでは歴史・文化および自然環境・フィールド体験についての調査を経験できた。
- ・地域の祭りに参加し、地域を活性化する祭りとその運営について、体験的に学んだ。
- ・地域の自然を活用し、加江田溪谷において、動植物を対象としたテーマ別調査を行った。また、宮崎県の総合博物館において、地域の自然理解や博学連携に関して、学芸員より講義を受けた。さらに地域の公立学校教員経験者から、教育現場の実状について、講義を受けた。
- ・みやざきエコクリーンプラザの見学、環境についての調査研究に宮崎県特有のテーマ＝メガソーラー、バイオマス発電等。
- ・木花フィールド見学。

(2) 英語(前学期)

- ・EMP/ENP programs are directly related to clinical situations in the affiliated hospital and interactions with international visitors.

(3) 環境と生命(後学期)

- ・宮崎県の基幹産業である農業・畜産を念頭に、農業(環境)と微生物の関係の重要性、宮崎で発生する家畜の感染症などを身近なテーマとして講義の中で取り上げている。
- ・青島に自生するピロウ樹や特産の伊勢えびについての内容を含んでいる。

(4) 倫理と文化(前学期)

- ・学外のゲストティーチャーを招聘し、市民団体と協働して講義を構成した。

(5) 倫理と文化(後学期)

- ・地域の衣生活 ・環境対策
- ・瑛九や山田新一等の郷土出身画家の作品を、鑑賞教材として採りいれている。

(6) 現代社会の課題(前学期)

- ・地域は、「宮崎」を限定的に意味するものではありません。国際政治においては、地域とは、アメリカ、

ヨーロッパなどを指します。本学での偏った「地域」という言葉の使い方を修整しながら講義を行っております。

(7) 選択教養科目(前学期)

- ・畜産は宮崎の特色でもあり、その部分にも触れている。
- ・EMP/ENP programs are directly related to clinical situations in the affiliated hospital and interactions with international visitors.
- ・ゲスト講師を3人招いた(県庁アピール課課長、宮崎商工会議所中小企業相談所所長、宮崎県NP〇活動センター長)。綾町の有機農業の紹介で実際の野菜の試食を授業内で行った。
- ・実際に宮崎の農業(農場:畑作、稲作、施設園芸、果樹)、畜産(牧場)、林業(演習林)、水産業(加江田川河口、大淀川学習館)などの現場に出向いて、本物の生き物を見て・触ってそして育てる体験を行っている。
- ・田野フィールド(演習林)と綾町エコパークでの自然観察研修(1泊2日)・宮崎子ども文化センターでのこどもとのふれあい研修・教育文化学部附属幼稚園ビオトープでの動植物観察手法研修・小学生のための自然体験教室(1泊2日)。
- ・地域性を重視した科目であるため、表題通りの内容を十分に考慮した特色ある教科内容である。

(8) 選択教養科目(後学期)

- ・宮崎県中小企業家同友会と連携し、経営者10人をゲスト講師として招き、講義いただいた。経営の概況、経営の思い・志、若者へのメッセージなどゲスト講義ならではの内容となり満足度も高かったと考えている。この取り組みは宮崎日日新聞にも報道された。
- ・大学進学率の県間比較と進学に伴う県間人口移動に関する学習。
- ・野外での観察・調査を7回実施したのち、宮崎の自然環境の現状と保護対策について講義を2回行った。1. 加江田溪谷での植物種の調査・観察 2. イノシン・サルなどによる農作物被害の調査・観察 3. 都井岬での野生馬と生息環境の観察・調査 4. 幸島でのニホンザルの行動と生息地環境の観察 5. 田野での野鳥観察 6. 加江田川河口での野鳥観察 7. 人工林と天然林での生態系の比較観察・調査 8. 宮崎の植物種多様性とその保護ーレッドデータブック 9. 宮崎県の野生動植物保護対策

(9) 日本語・日本事情(前学期)

- ・お茶文化を紹介する際に、季節に応じた「お菓子」を選んで毎回提供するが、宮崎ならではののお菓子もあれば、全国の代表的なお菓子も選んでくるので、日本全体の地域差のようなものをお菓子を通して留学生には教えることができた。

第 10 章 今後の課題

本報告書における以上の分析を踏まえ、自己点検・評価委員会および各教員が今後取り組むべき3つの課題を挙げる。

【1】「アクティヴ・ラーニング」と「自学自習」の関連性の検証

本報告書で明らかになったように、「授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した」という評価項目は、「学生による授業評価」(本報告書 6～7 ページ, 29～30 ページ)においても「教員のFDレポート」(本報告書 9 ページ, 32 ページ)においても、最も評価が低い。これは数年来変わらない傾向である。

しかし、平成 26 年度から共通教育のカリキュラムが大幅に変更され、クラスサイズが小さくなり、「アクティヴ・ラーニング」が導入される予定である。この変更が、学生の自学自習により影響を与えることが期待できる。

そこで、アクティヴ・ラーニング導入の前後にかけて、「授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した」という評価項目が改善されたか否かを、数年かけて検証する必要がある。

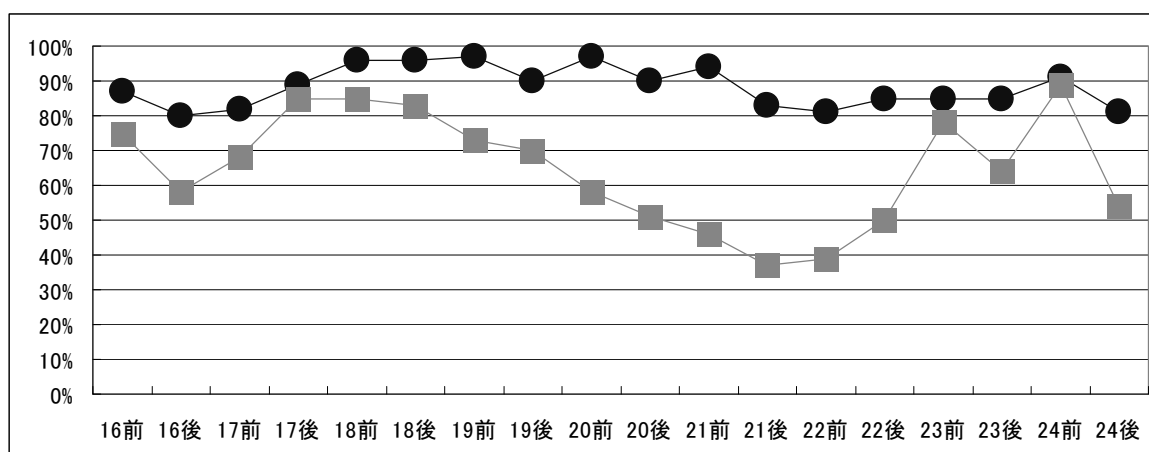
- ・ アクティヴ・ラーニングと「自学自習」の関連性の検証を数年かけておこなう必要がある。

【2】「教員のFD活動レポート」の回収率向上のための抜本的対策

「学生による授業評価」と「教員のFD活動レポート」の回収率(すべての科目のうち、何科目を回収したか)の推移は次のとおりである。学生による授業評価が始まった平成 16 年度以降のすべてのデータを記載してある。

年度・学期	学生による授業評価	教員の FD 活動レポート
平成 16 年度前学期	87%	75%
平成 16 年度後学期	80%	58%
平成 17 年度前学期	82%	68%
平成 17 年度後学期	89%	85%
平成 18 年度前学期	96%	85%
平成 18 年度後学期	96%	83%
平成 19 年度前学期	97%	73%
平成 19 年度後学期	90%	70%
平成 20 年度前学期	97%	58%
平成 20 年度後学期	90%	51%
平成 21 年度前学期	94%	46%
平成 21 年度後学期	83%	37%
平成 22 年度前学期	81%	39%
平成 22 年度後学期	85%	50%
平成 23 年度前学期	85%	78%
平成 23 年度後学期	85%	64%
平成 24 年度前学期	91%	89%
平成 24 年度後学期	81%	54%

これをグラフにすると次のページのようになる。



●が「学生による授業評価」の回収率であり、■が「教員のFDレポート」の回収率である。

平成 24 年度前学期の「FDレポート」の回収率が上昇しているのは、①未提出の教員への催促をおこなった後、②催促に応じなかった教員に対し、再度、催促をおこない、さらに、(本来の方法である web 入力ではなく)メールへの返信という形でレポート提出を求めた結果である。特に、②により、31 科目 (14%に相当) が追加提出された。

平成 24 年度後学期には①②をおこなわなかったところ、「FDレポート」の回収率は 54%にまで下落した。

なんらかの抜本的な工夫が必要である。

例えば、(FDレポートに限らず)教員に課されるすべてのアンケートを一括した web 上のページがあれば、アンケートの提出率の向上が期待される。

あるいは、他大学で実際におこなわれている方法だが、「成績を web 入力する際に、FD レポートも同じ画面から一緒に web 入力しないと、成績が提出できない」というシステムを作れば、提出率は100パーセントになる。

- ・ 「教員のFDレポート」の回収率を上げる工夫が必要である。

【3】教員の声(FDレポート自由記述欄)のFD研修への活用

本報告書 46～61 ページには, FDレポートの自由記述欄に書かれた教員の声がすべて掲載してある。そこでは, さまざまな実践例が紹介され, また, さまざまな課題が指摘されている。自分の授業でおこなった工夫や, 明らかになった問題点などを各教員が具体的に述べている。(科目群ごとに分けて掲載した。)

それらの声は, 今後のFD活動を進めていく上で大いに参考になると考えられる。たとえば, FD研修会やFD懇談会の際の資料として活用することができる。

また, そうすることによって, 「自己点検」を「教育改善」へむすびつけることが期待できる。

- ・ 本報告書の「教員の声(FDレポート自由記述欄)」(46～61 ページ)をFD研修に活用しよう。

共通教育部自己点検・評価委員会委員

(平成 24 年度)

- 酒井 正博 (農学部・共通教育部長)
◎飯田 雅人 (工学部)
○伊佐敷 隆弘 (教育文化学部)
荒木 賢二 (医学部)
金 智賢 (教育・学生支援センター)
秦泉寺 尚 (教育文化学部)
池田 哲也 (医学部)
山田 涉 (教育文化学部)
湯井 敏文 (工学部)
西脇 亜也 (農学部)
柏葉 武秀 (教育文化学部)
根本 清次 (医学部)
雉子谷 佳男 (農学部)
武方 壮一 (教育・学生支援センター)
(◎は委員長 ○は副委員長)

(平成 25 年度)

- 酒井 正博 (農学部・共通教育部長)
◎飯田 雅人 (工学部)
○伊佐敷 隆弘 (教育文化学部) ★
荒木 賢二 (医学部)
南部 みゆき (医学部)
福田 潤 (教育文化学部)
池田 哲也 (医学部)
湯地 敏史 (教育文化学部)
前田 幸重 (工学部) ★
西脇 亜也 (農学部)
菊井 高雄 (医学部) ★
窄野 昌信 (農学部)
武方 壮一 (教育・学生支援センター)
(◎は委員長 ○は副委員長)
(★は「24年度報告書」作成WG)

*なお、授業評価に係るデータ処理に関して武方委員に多大な尽力を賜った。特記して謝意を表したい。